

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第45週 > 水痘の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-10

< インフルエンザ >

第45週の定点当たり報告数は32.76となり、前週の値よりもやや減少した



病原体情報
P.11-15

インフルエンザウイルス 2009年5～11月 / 手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2008&2009年



速報
P.16-20

インフルエンザウイルスA(H1N1)pdmによる急性脳症 - 2



海外感染症情報
P.21-23

ウクライナでのパンデミック(H1N1)2009 / パンデミック(H1N1)2009 短報: no.15 - インフルエンザに感染した家畜



感染症の話
P.24

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(45週)
P.25-30



45週のデータ
P.31-43



発生動向総覧

< 第45週コメント > 11月11日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核225例

3類感染症

細菌性赤痢1例

感染地域: 愛知県

腸管出血性大腸菌感染症37例(有症者28例、うちHUS なし)

感染地域: 国内37例

国内の感染地域: 佐賀県9例、長崎県4例、東京都3例、福岡県3例、福井県2例、愛知県2例、兵庫県2例、熊本県2例、岩手県1例、宮城県1例、千葉県1例、三重県1例、大阪府1例、和歌山県1例、愛媛県1例、不明3例

年齢群: 1歳(8例)、2歳(4例)、5歳(1例)、6歳(1例)、9歳(1例)、10代(4例)、20代(3例)、30代(4例)、40代(3例)、50代(1例)、60代(6例)、70代(1例)

血清型・毒素型: O26 VT1(14例)、O157 VT1・VT2(13例)、O157 VT2(4例)、O157 VT不明(2例)、O157 VT1(1例)、O26 VT1・VT2(1例)、O121 VT2(1例)、O146 VT1・VT2(1例)

累積報告数: 3,524例(有症者2,353例、うちHUS 74例、死亡3例)

腸チフス1例

感染地域: インドネシア

パラチフス1例

感染地域: 中国

4類感染症

A型肝炎1例

感染地域: アルゼンチン

つつが虫病15例

感染地域: 福島県6例、神奈川県2例、富山県2例、青森県1例、茨城県1例、愛知県1例、宮崎県1例、宮城県/アフガニスタン1例

デング熱1例

感染地域: マレーシア

日本紅斑熱5例

感染地域: 愛媛県3例、兵庫県1例、広島県1例

レジオネラ症5例(肺炎型5例)

感染地域: 長野県2例(2例とも温泉)、兵庫県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)1例

年齢群: 40代(1例)、60代(1例)、70代(2例)、90代(1例)

5類感染症

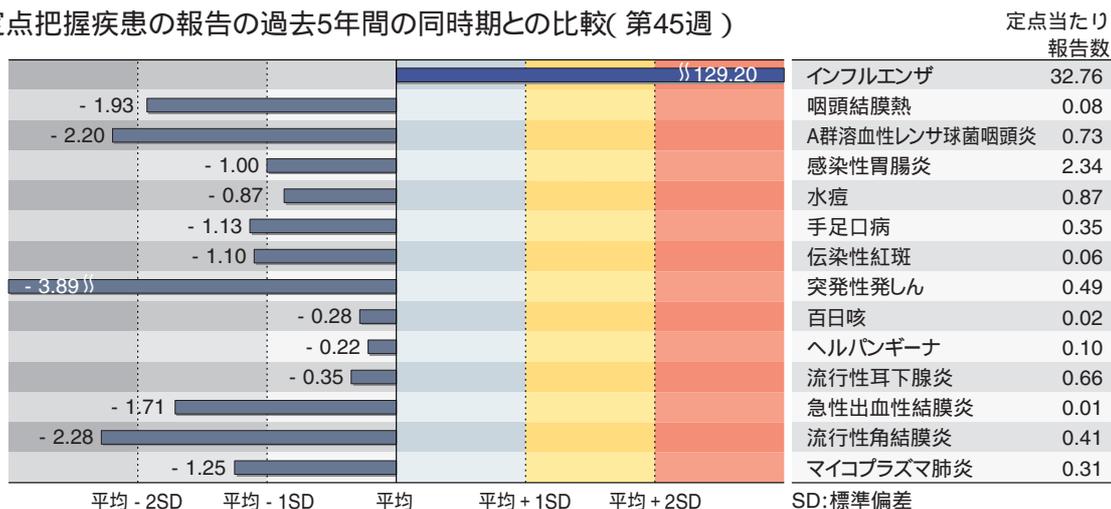
- アメーバ赤痢7例(腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症1例)
 感染地域: 東京都2例、宮城県1例、神奈川県1例、愛知県1例、大阪府1例、国内(都道府県不明)1例
 感染経路: 性的接触4例(異性間2例、同性間1例、異性・同性間不明1例)、経口感染1例、不明2例
- ウイルス性肝炎2例 B型2例__感染経路: 性的接触1例(異性間)、不明1例
 急性脳炎10例 インフルエンザウイルスAH1pdm 8例__年齢群: 5歳(2例)、6歳(1例)、8歳(2例)、9歳(1例)、10代(1例)、60代(1例)
 インフルエンザウイルスA型2例__年齢群: 3歳(1例)、7歳(1例)
- クロイツフェルト・ヤコブ病1例
 孤発性プリオン病古典型
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例
 年齢群: 60代
- 後天性免疫不全症候群8例(AIDS 5例、無症候3例)
 感染地域: 国内8例
 感染経路: 性的接触8例(同性間7例、異性/同性間1例)
- 梅毒3例(早期顕症I期1例、早期顕症II期2例)
 破傷風1例 年齢群: 50代
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例
 遺伝子型: *VanC* 2例__菌検出検体: 血液1例、腹水1例
- 麻しん5例[麻しん(検査診断例1例、臨床診断例3例)、修飾麻しん(検査診断例1例)]
 感染地域: 国内5例
 国内の感染地域: 神奈川県2例、千葉県1例、東京都1例、国内(都道府県不明)1例
 年齢群: 1歳(1例)、2歳(1例)、5~9歳(1例)、20~24歳(1例)、30~34歳(1例)
 累積報告数: 689例[麻しん(検査診断例224例、臨床診断例286例)、修飾麻しん(検査診断例179例)]

(補)他に2009年第44週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢2例(感染地域: 愛知県1例、国内・国外不明1例)、E型肝炎1例(感染地域(感染源): 北海道(不明))、 Dengue熱2例[感染地域: インド1例、国外(国不明)1例]、日本紅斑熱12例(感染地域: 三重県12例)、急性脳炎13例[インフルエンザウイルスAH1pdm 8例(1歳1例、4歳1例、7歳2例、8歳1例、10代2例、20代1例)、インフルエンザウイルスA型2例(7歳1例、9歳1例)、病原体不明3例(2歳1例、4歳1例、70代1例)]、クロイツフェルト・ヤコブ病2例(孤発性プリオン病古典型2例、死亡2例)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(10代)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例(遺伝子型: *VanB* 3例__菌検出検体: 尿2例、血液/腹水1例)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科 定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第45週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では愛知県(53.19)、秋田県(50.64)、滋賀県(50.06)、福岡県(48.73)、宮城県(46.24)、大分県(45.78)、香川県(42.11)、新潟県(40.52)、石川県(40.10)、青森県(38.92)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は653例と第40週以降増加が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では佐賀県(0.48)、秋田県(0.34)、富山県(0.28)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山口県(2.94)、佐賀県(2.70)、山形県(2.63)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では熊本県(9.2)、大分県(5.6)、富山県(5.0)が多い。

水痘の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いている。都道府県別では大分県(2.69)、岩手県(2.55)、宮崎県(2.03)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第42週以降減少が続いている。都道府県別では山形県(2.87)、沖縄県(1.71)、岩手県(1.18)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では青森県(0.33)、長野県(0.29)、福島県(0.19)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(0.10)、栃木県(0.08)、広島県(0.08)が多い。

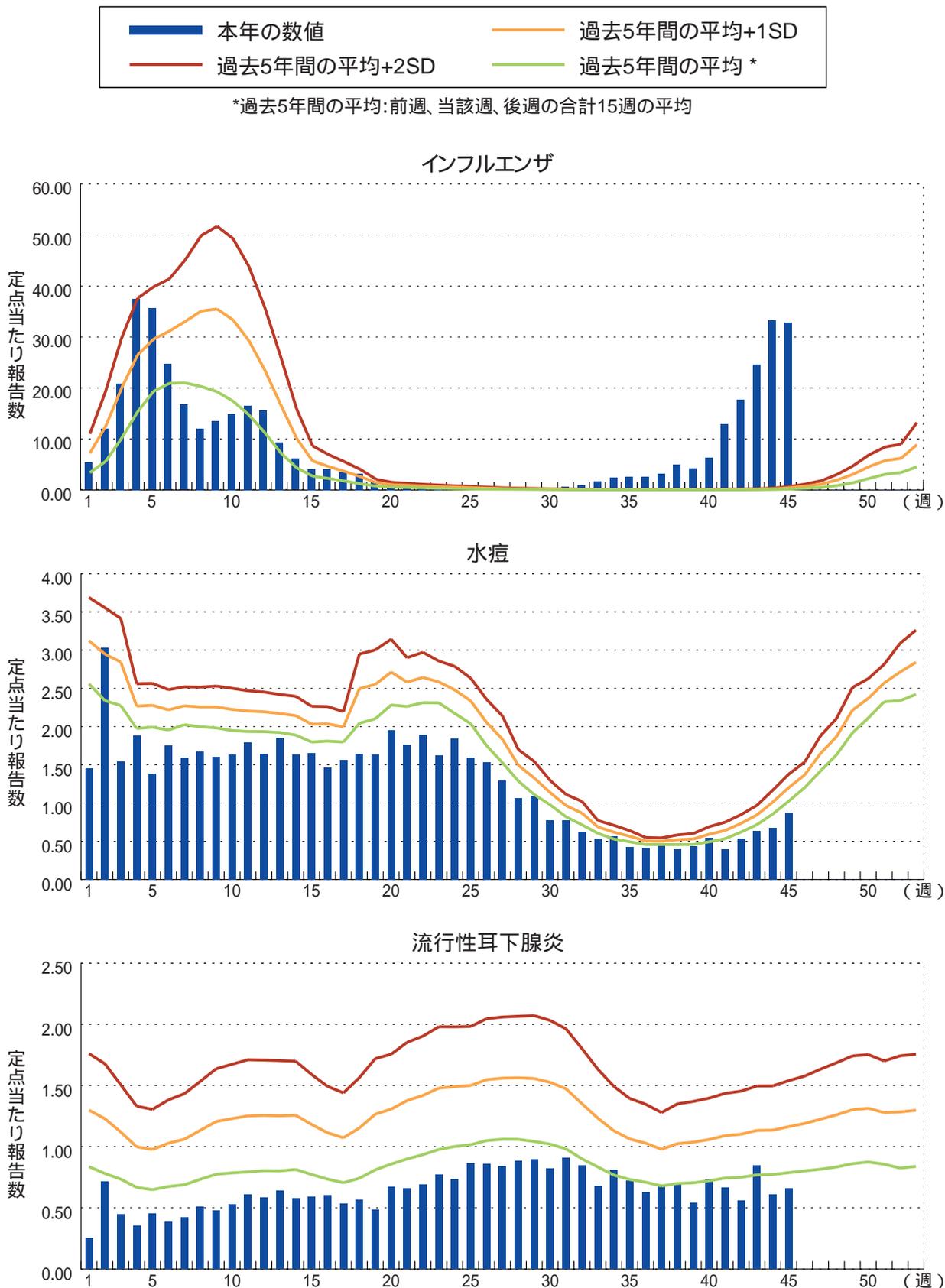
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第42週以降減少が続いている。都道府県別では高知県(0.93)、香川県(0.57)、福島県(0.50)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では山形県(3.27)、福井県(2.77)、沖縄県(2.71)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮城県(1.58)、沖縄県(1.43)、群馬県(1.13)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2009年第1 ~ 45週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

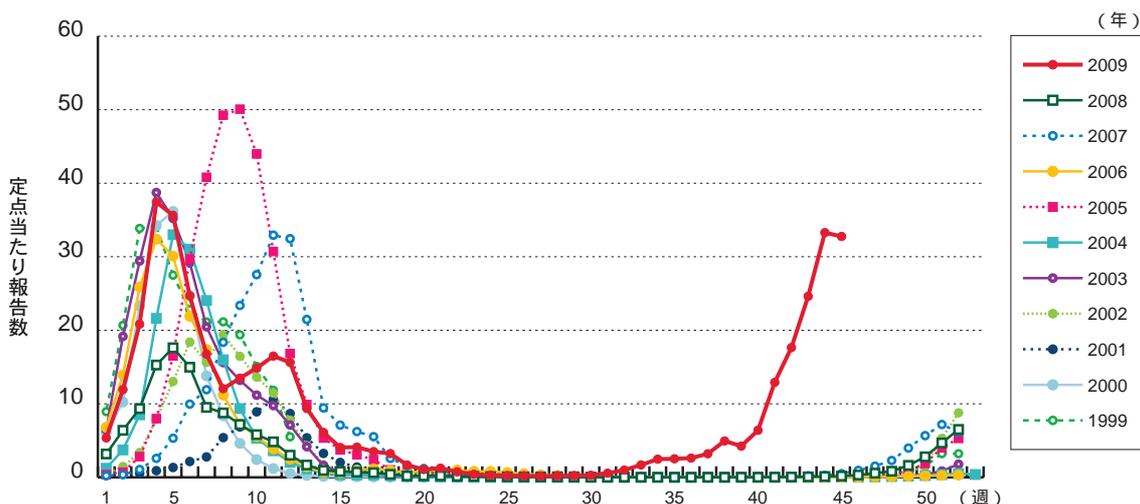
インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。2009年4月にその存在が明らかとなった新型インフルエンザ A/H1N1の臨床像は、従来の季節性インフルエンザとほぼ同様であり、罹患者の大半は合併症なく治癒するといわれているが、肺炎やインフルエンザ脳症を併発して重症化する場合がある。特に肺炎は、急速に進行する重症のウイルス性肺炎を起こす場合が多く、喘息や慢性閉塞性肺疾患等の呼吸器疾患の存在が急激な悪化と関連しているといわれている(Clinical features of severe cases of pandemic influenza: Pandemic(H1N1)2009 briefing note 13, Global Alert and Response, WHO, Oct. 16, 2009 ; http://www.who.int/csr/disease/swineflu/notes/h1n1_clinical_features_20091016/en/index.html)。現在新型インフルエンザは、北米、ヨーロッパ、中央及び東アジア等の北半球の国々において大きな流行となってきた(Pandemic(H1N1)2009-update 74 : http://www.who.int/csr/don/2009_11_13/en/index.html)。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所(小児科定点約3,000、内科定点約2,000)のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。本サーベイランスは原則的に臨床診断によるものであり、最近の国内のインフルエンザウイルス検出状況を考慮すれば、現在報告されているインフルエンザ患者発生の殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される。

2009年第45週のインフルエンザの定点当たり報告数は32.7(報告数157,626)となり、前週の値(定点当たり報告数33.28)よりやや減少した(図1)。定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診した患者数を推計すると約153万人となり、第28週以降これまでの累積の推計患者数は約738万人(95%信頼区間: 722.57万人 ~ 753.43万人)とな

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1999 ~ 2009年第45週)



った(図2)。都道府県別では愛知県(53.19)、秋田県(50.64)、滋賀県(50.06)、福岡県(48.73)、宮城県(46.24)、大分県(45.78)、香川県(42.11)、新潟県(40.52)、石川県(40.10)、青森県(38.92)の順となっている。定点当たり報告数は、前週と同様全ての都道府県で10.00を上回り、前週よりも多い25道県で30.00を上回ったが、首都圏、愛知県、大阪府、兵庫県等の大都市圏を中心とした14の都道府県では報告数の減少がみられている(図3)。ただし、第45週は祝日によって診療日数が前週よりも少ない医療機関が多く、報告数もその影響を受けている可能性があるため、今後の推移を慎重に観察していく必要がある。

図2. インフルエンザ累積推計受診者数の推移(2009年第28 ~ 45週)

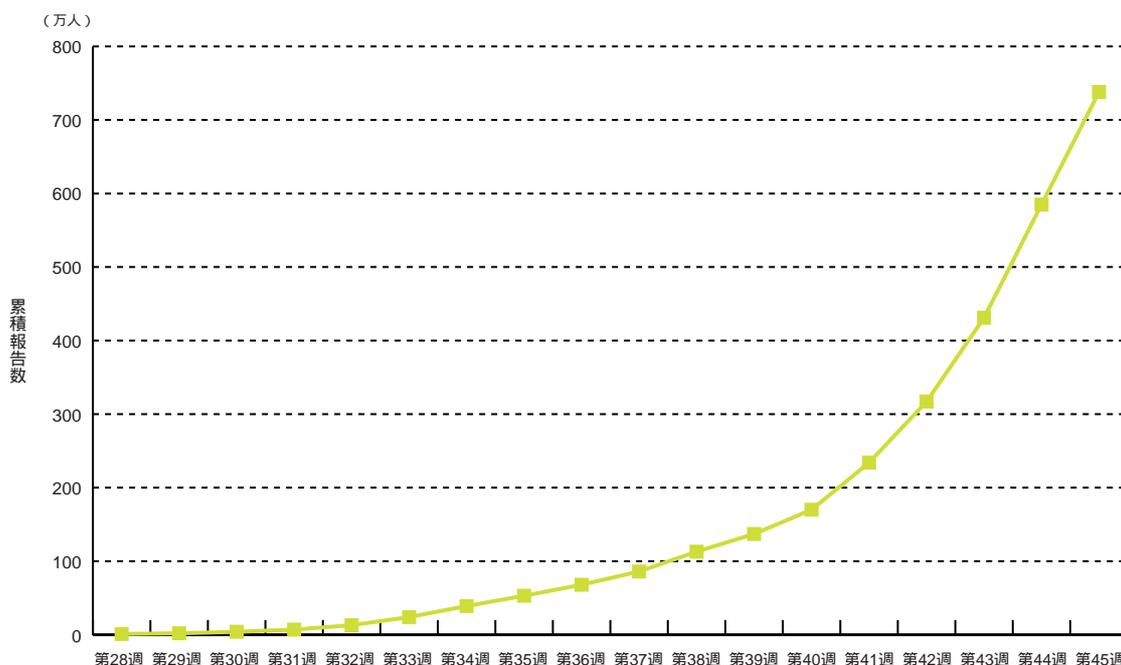
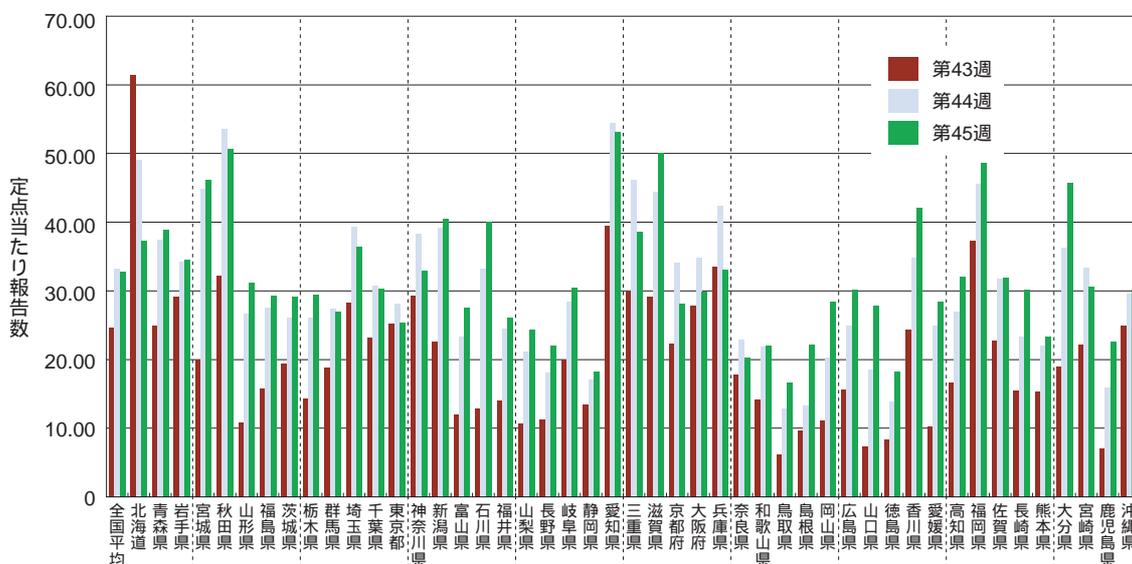


図3. インフルエンザの都道府県別定点当たり報告数の推移(2009年第43 ~ 45週)



患者報告数が継続的に増加し始めた第28週以降第45週までの累積報告数は731,659(定点当たり報告数153.43)であり、性別では男性388,542、女性343,117、年齢群別では10~14歳243,973例(33.3%)、5~9歳241,423例(33.0%)、0~4歳82,730例(11.3%)、15~19歳79,104例(10.8%)、20~29歳30,619例(4.2%)の順となっている(図4)。また、男女比は男性53.1%、女性46.9%と男性の方がやや多くなっているが、年齢群別でみると19歳以下では男性が、20歳以上では女性の報告数の方が多い(図5)。夏季休暇終了以降に5~19歳の割合が増加して流行の中心となっていたが、第40週以降では9歳以下の報告割合が増加傾向を示している(図6)。

図4. インフルエンザ累積報告数の年齢群別割合(2009年第28 ~ 45週)

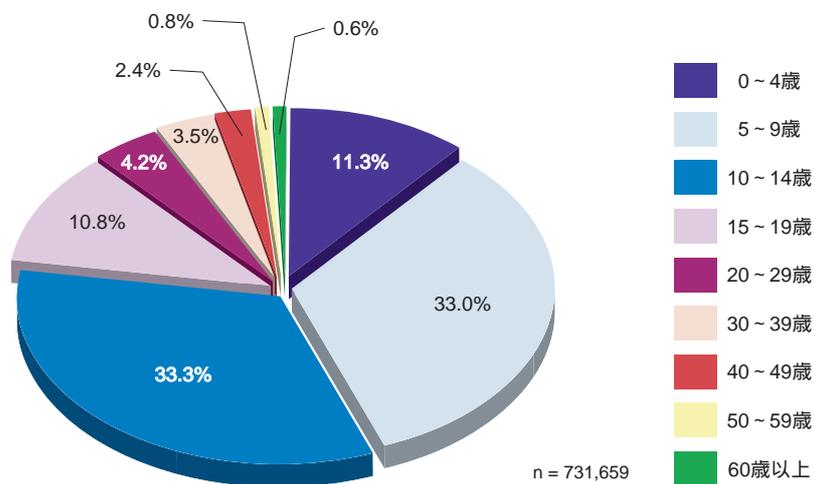


図5. インフルエンザの性別・年齢群別累積報告数(2009年第28 ~ 45週)

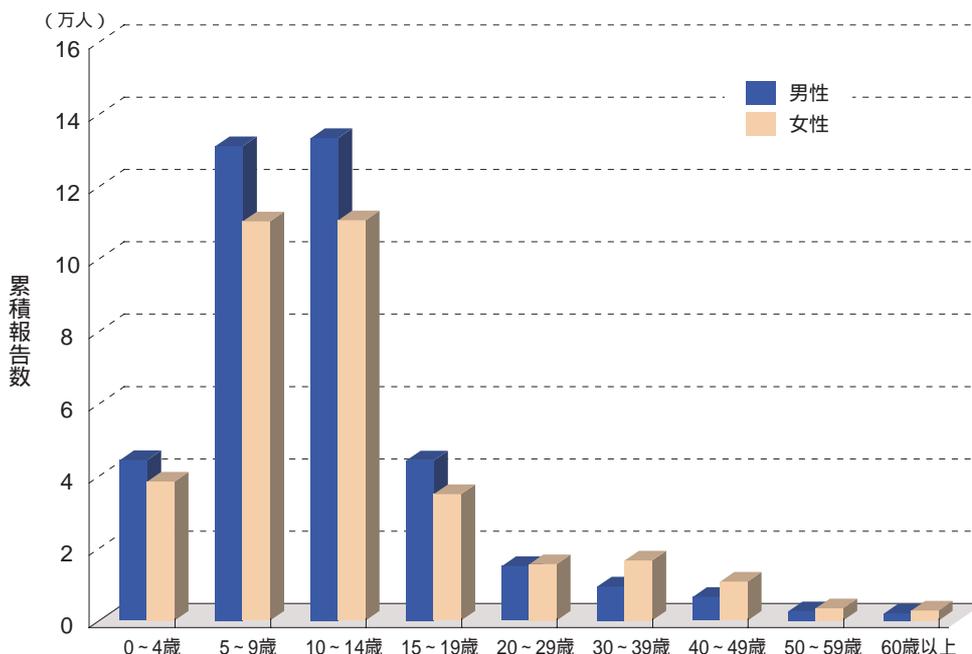
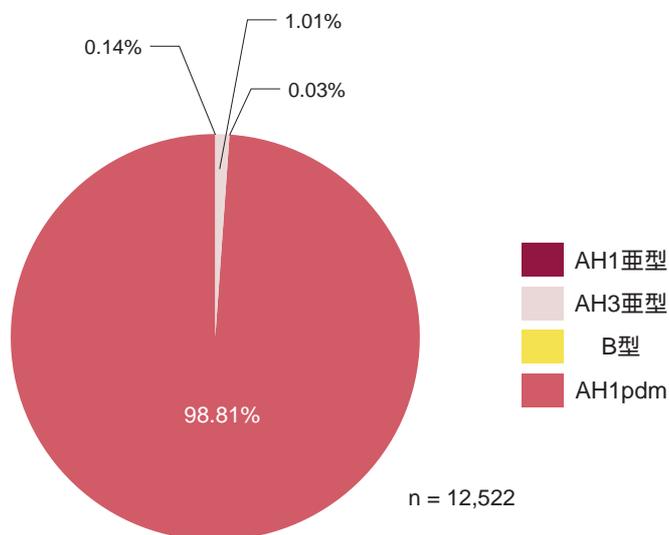


図6. インフルエンザ報告数の年齢群別割合の推移(2009年第28 ~ 45週)



日本で新型インフルエンザウイルスAH1pdmが検出された2009年第19週以降第45週までに14,762件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、そのうちAH1pdmは13,719件(92.9%)を占めている。また、特に患者報告数が増加し始めた第28週以降では、第45週までに12,522件のインフルエンザウイルスの検出が報告され、AH1亜型(Aソ連型)18件(0.14%)、AH3亜型(A香港型)127件(1.01%)、B型4件(0.03%)、AH1pdm(新型インフルエンザウイルス)12,373件(98.81%)とインフルエンザウイルスの検出報告数の大半をAH1pdmが占めており、現在国内で発生しているインフルエンザの殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される(図7および感染症情報センターホームページ: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph/sinin1.gif> 参照)。

図7. インフルエンザウイルス検出報告割合(2009年第28 ~ 45週)
(病原微生物検出情報: 2009年11月12日現在報告数)



第45週の定点医療機関からの患者報告数は前週よりやや減少したが、依然として全国規模での本格的な流行は継続しており、また祝日による診療日数の減少等の影響を考慮するならば、まだ患者発生数が減少したとは言い難いものと思われる。加えて、年齢群別では、入院患者数の割合が大きい10～9歳の若年齢層(厚生労働省ホームページ: <http://www.mhlw.go.jp/za/0730/d20/d20-03.html> 参照)の患者報告数の割合が増大傾向を示しており、引き続き注意して観察していく必要がある。

これまでのパンデミックの例をみても、新型インフルエンザの流行は、国民の多くが感染し免疫を保有するに至るまでは繰り返されるものと考えられる。秋季の流行にもかかわらず、流行の規模はこれまでの冬季における季節性インフルエンザに匹敵する流行となっており、この流行が今後も更に継続、もしくは拡大する可能性があることを考慮しておくべきである。また、一旦は今回の秋季の流行が収束傾向を示したとしても、冬季には季節性インフルエンザの流行も交えた本格的な流行が再び到来することも考慮しておく必要がある。インフルエンザの流行の規模が拡大し、外来受診患者数や入院を必要とする患者数が急増した場合、医療体制を維持し、国民に対して医療サービスを提供し続けることが大きな課題である。特に小児科での外来受診者数と入院患者数の増加が、さらに大きな問題となってくるものと予想される。加えて、発症後急速な経過をとるといわれているインフルエンザウイルス性の肺炎や脳症の合併は要注意であり、重症例に関する迅速で詳細な解析と速やかな情報の還元は重要と思われる。新型インフルエンザを含めたインフルエンザの発生動向には今後とも警戒が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2009年11月12日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2009年5 ~ 11月

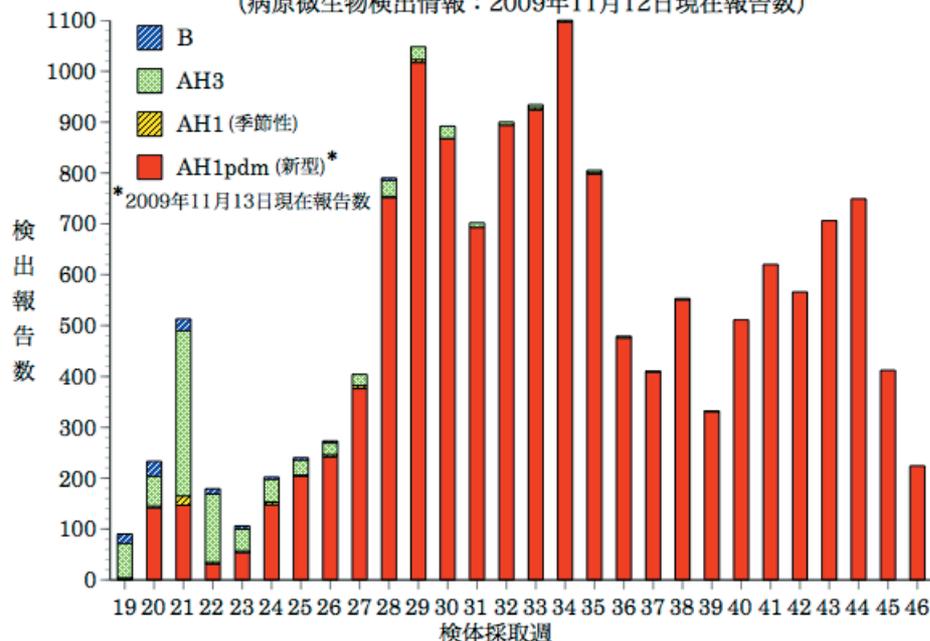
国立感染症研究所・感染症情報センターには地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」が報告されている。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれる。

新型インフルエンザの発生に対応して、2009年5月以降、地研で鑑別診断のための検査が行われている。第19週に最初の新型インフルエンザウイルスAH1pdm検出例が報告され、第20週以降検出数が増加した。

AH1pdmは、2009年第19 ~ 46週に全47都道府県から13,947件の分離・検出が報告されており(2009年11月13日現在報告分) このうち、9,127件はPCRで検出、4,176件はPCRで検出後ウイルス分離培養も陽性、644件はPCRでは検出されず分離培養のみで陽性となっている。また、下気道炎(肺炎、気管支炎)640件、インフルエンザ脳症67件、死亡例24件が報告されている。

同期間(第19 ~ 46週)に季節性インフルエンザウイルスの分離・検出はAH1亜型(Aソ連型)が65件、AH3亜型(A香港型)が876件、B型が102件の報告があり(2009年11月12日現在報告数)、AH1pdmはこの期間の分離・検出例全体の93%を占めている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2009年第19~46週
(病原微生物検出情報 : 2009年11月12日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した
(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)



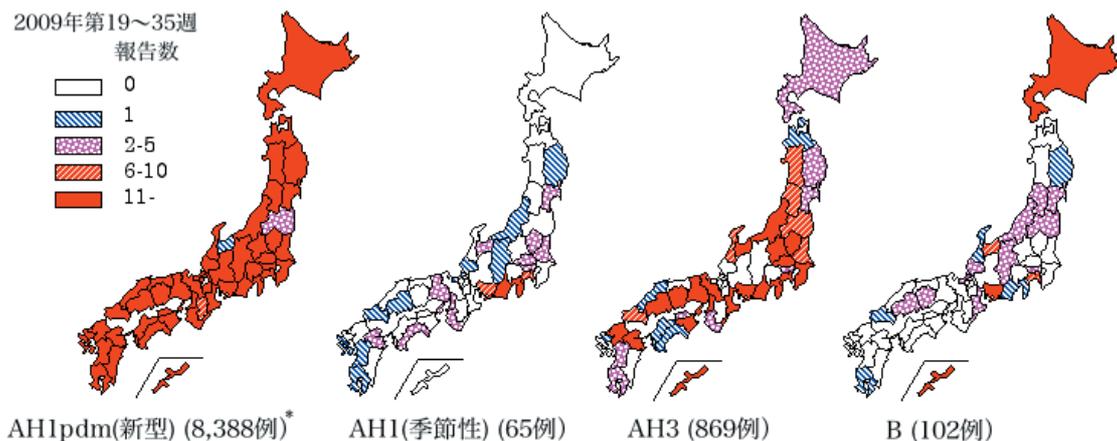
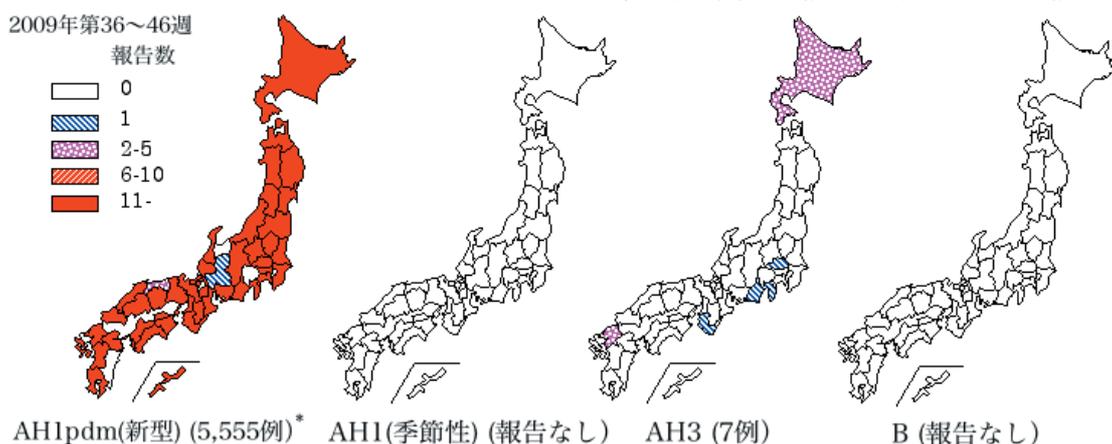
Infectious Agents Surveillance Report

このうち、2009年第19～35週(2008/09シーズン末)までにAH1pdmが47都道府県から8,388件、AH1亜型が23都道府県から65件、AH3亜型が38都道府県から869件、B型が20都道府県から102件報告された。

2009/10シーズンに入ってから、2009年第36～46週にAH1pdmが43都道府県から5,555件、第36～39週にAH3亜型が5道県から7件報告されているが、AH1亜型は第36週以降、B型は第29週以降報告されていない。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第19～46週

(病原微生物検出情報：2009年11月12日現在報告数)



*2009年11月13日現在報告数

各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

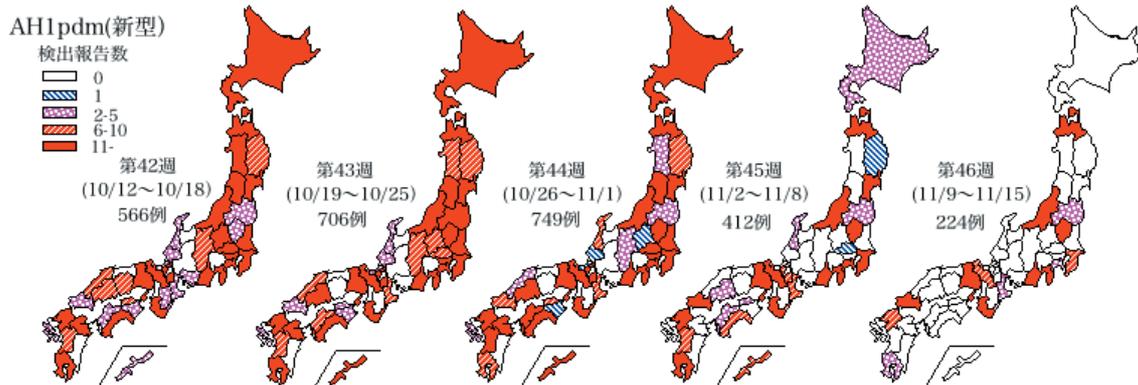


Infectious Agents Surveillance Report

また、輸入例からの分離・検出の報告が、第19～24週126件(AH1pdm 46件、AH1亜型13件、AH3亜型66件、B型1件)、第25～29週619件(AH1pdm 547件、AH1亜型14件、AH3亜型58件)と大きく増加していたが、第30週以降、多くの自治体が疑い例の全例検査を中止したため、第30～35週121件(AH1pdm 103件、AH1亜型1件、AH3亜型17件)、第36～46週12件(AH1pdm 10件、AH3亜型2件)と減少している。

直近の5週間(第42 ~ 46週)ではAH1pdmのみが40都道府県から2,657件報告されている。
 インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.gov/jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第42~46週



(病原微生物検出情報：2009年11月13日現在報告数)

* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2008 & 2009年

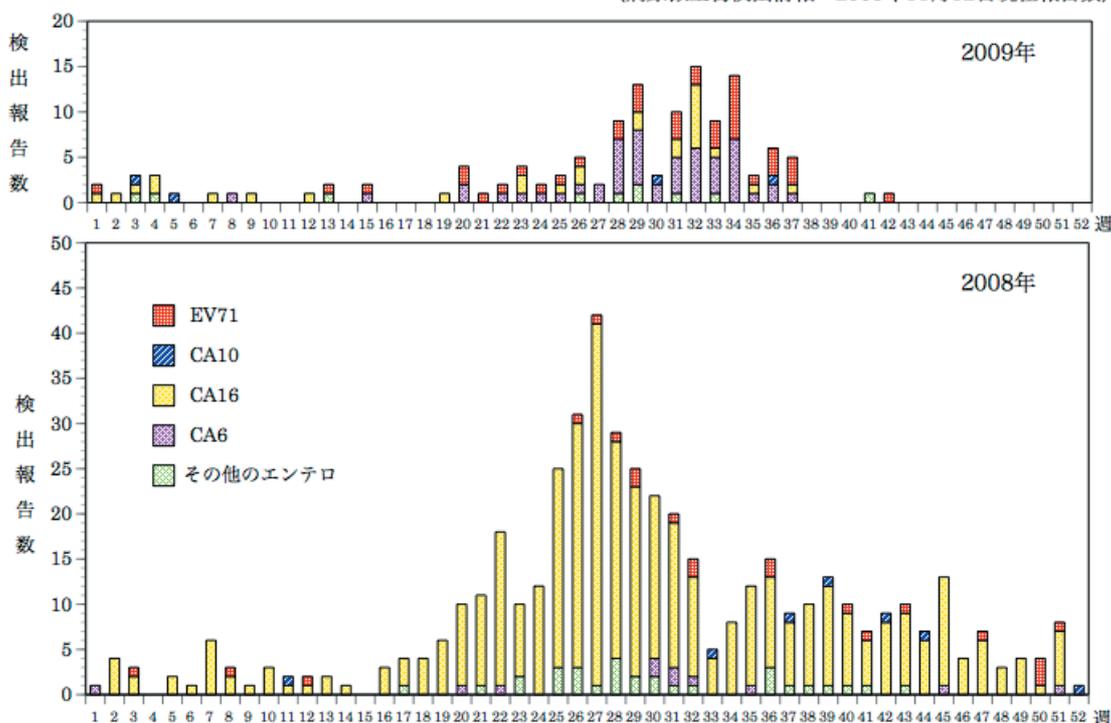
エンテロウイルス71型(EV71)は2008年には13都道府県から計22件と検出の報告が少なかったが、過去1997、2000、2003、2006年と3年周期で増加を繰り返していたため、2009年の増加が懸念されていた。しかし、2009年には夏季に少し増加したものの、神奈川県14件など10都県から計38件の報告に留まっている。

A群コクサッキーウイルス(CA)16型は2008年には第27週をピークに検出が増加し、神奈川県83件、愛知県63件、富山県36件、長野県30件、鳥取県29件、高知県19件、三重県16件、福島県、宮崎県各11件など35都道府県から計409件が報告されていたが、2009年には神奈川県7件など13県から27件と検出の報告が減少している。

その他のCAでは、2008年には7都府県から11件と検出の報告が少なかったCA6が、2009年には大分県12件、高知県9件など12府県から計50件の検出が報告されている。

週別手足口病患者からのエンテロウイルス分離・検出報告数、2008年 & 2009年

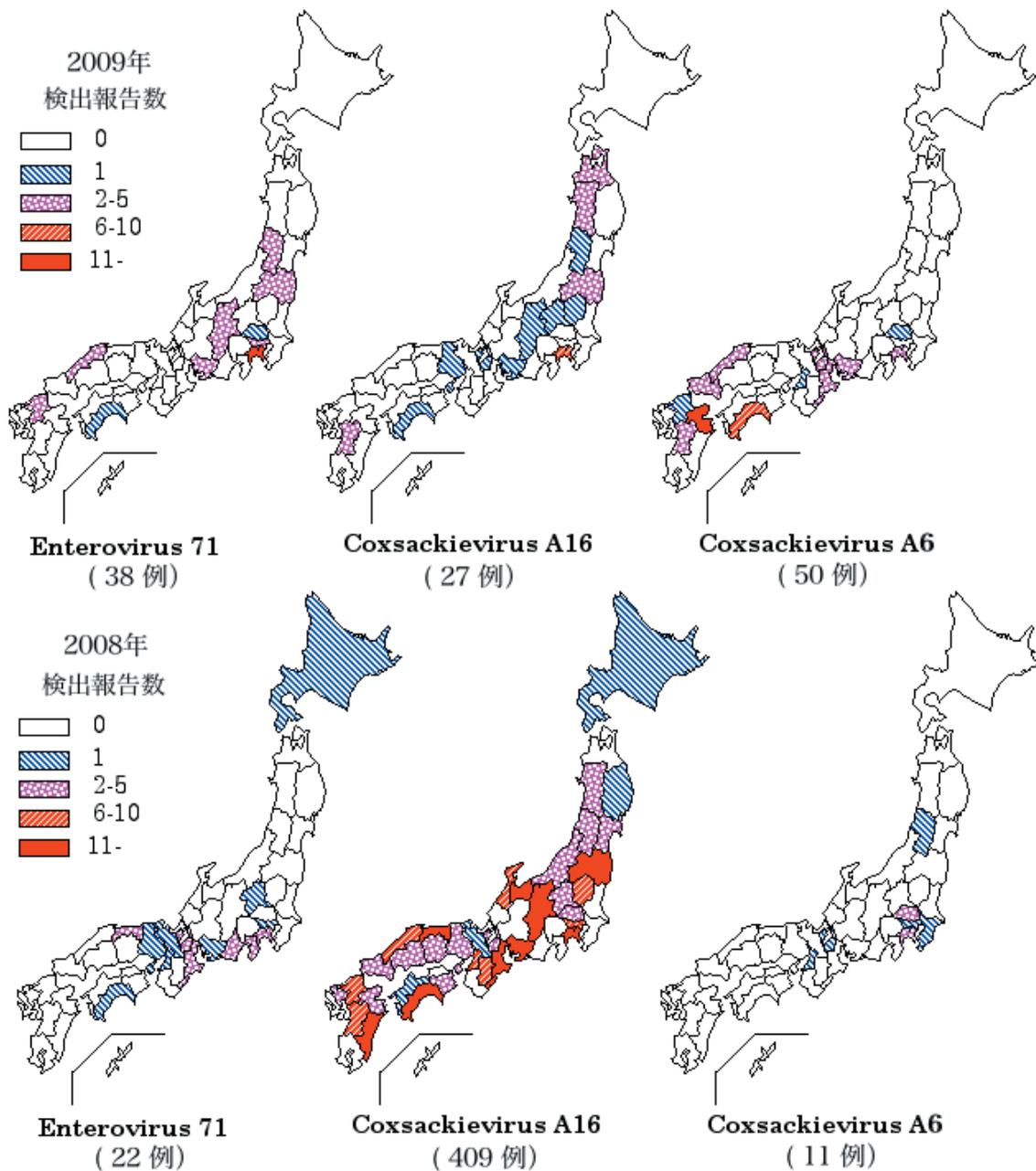
(病原微生物検出情報：2009年11月12日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



都道府県別手足口病患者からのエンテロウイルス71型、コクサッキーウイルスA16型、
コクサッキーウイルスA6型分離・検出報告状況、2008年&2009年
(病原微生物検出情報：2009年11月12日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した





インフルエンザウイルスA(H1N1)pdmによる急性脳症 - 2

(2009年11月13日現在)

インフルエンザ脳症は、現在、感染症法に基づく五類感染症の全数届出疾患である急性脳炎に含まれるものとして、診断したすべての医師に診断から7日以内に届け出ることが義務づけられている。(急性脳炎の届出基準 : <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-05-03.html>)。インフルエンザ脳症の診断については、厚生労働科学研究「インフルエンザ脳症の発症因子の解明と治療及び予防方法の確率に関する研究(研究代表者 : 森島恒雄)」班により診断基準が示されているところであるが、感染症法に基づく届出はその届出基準(上記URL参照)に基づき行われている。

本稿は、日本国内におけるインフルエンザウイルス(AH1N1)pdm(以降AH1pdm)によるインフルエンザ脳症に関する情報を、迅速に明らかにすることを目的として記述するものである。感染症法に基づく届出内容のみでは得られない情報について、関係する公衆衛生機関および医療機関に対して再度情報提供を依頼して得られた結果について以下に報告する。その情報提供および調査の円滑な遂行等にご協力いただいた方々に深謝する。

2009年4月28日(第18週)、WHOにより新型インフルエンザA/H1N1(以降新型インフルエンザ)の発生が宣言され、5月には国内発生例も認められた。その後、新型インフルエンザの発生は日本国内においても増加し、2009年第28週以降は感染症発生動向調査によるインフルエンザの定点サーベイランスにおいてもその増加が明らかとなり、第45週現在では全国規模での本格的な流行となっている。

一方、インフルエンザによる急性脳症は、国内においてインフルエンザの患者報告数が継続的に増加し、かつそのほとんどが新型インフルエンザと考えられる第28週以降第45週までの期間に、28都道府県から、計132例が報告された。インフルエンザの全ての型による急性脳症の報告数と、インフルエンザの定点当たり報告数の推移は、概ね同様の傾向を示しており、大半の教育機関の夏季休暇終了以降に増加傾向が顕著となっている(図1)。第1～27週の季節性インフルエンザの流行が認められた期間のインフルエンザ脳症の報告数は48例であり、新型インフルエンザが流行している第28週以降においては、インフルエンザの定点当たり報告数に対する脳症の割合が高い傾向にある。

2009年第28週以降に報告された132例について、インフルエンザウイルスの型及び亜型別にみると、AH1pdm 116例、A型15例、B型1例であり、AH1pdmによるものが88%を占めた。年齢別にみると、95.5%の症例が15歳未満であり、年齢中央値は8歳(範囲1～67歳)、最も症例が多かったのは7歳で22例であった(図2)。第28～45週までの期間で、都道府県別に、インフルエンザの報告数とインフルエンザ脳症の報告数を比較すると、インフルエンザの報告数が多い都道府県において、多くのインフルエンザ脳症が報告されている傾向が認められた(図3)。

図1. インフルエンザ脳症報告数及びインフルエンザ
定点当たり報告数の推移(2009年第1 ~ 45週)

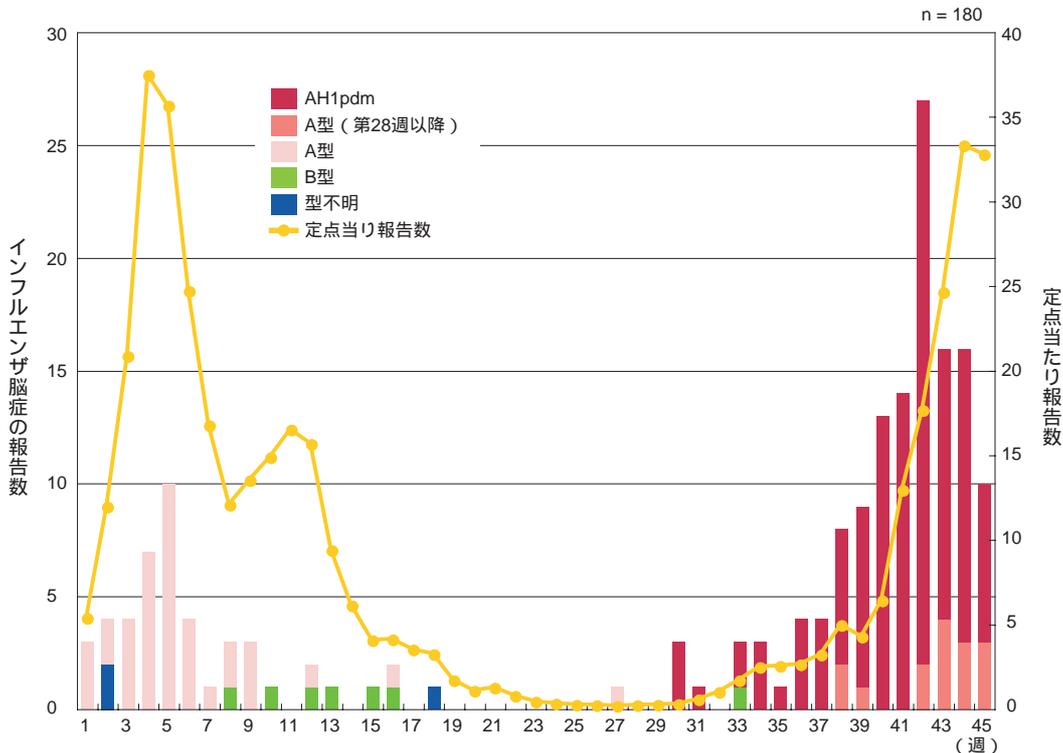


図2. インフルエンザ脳症の年齢群別報告数(2009年第28 ~ 45週)

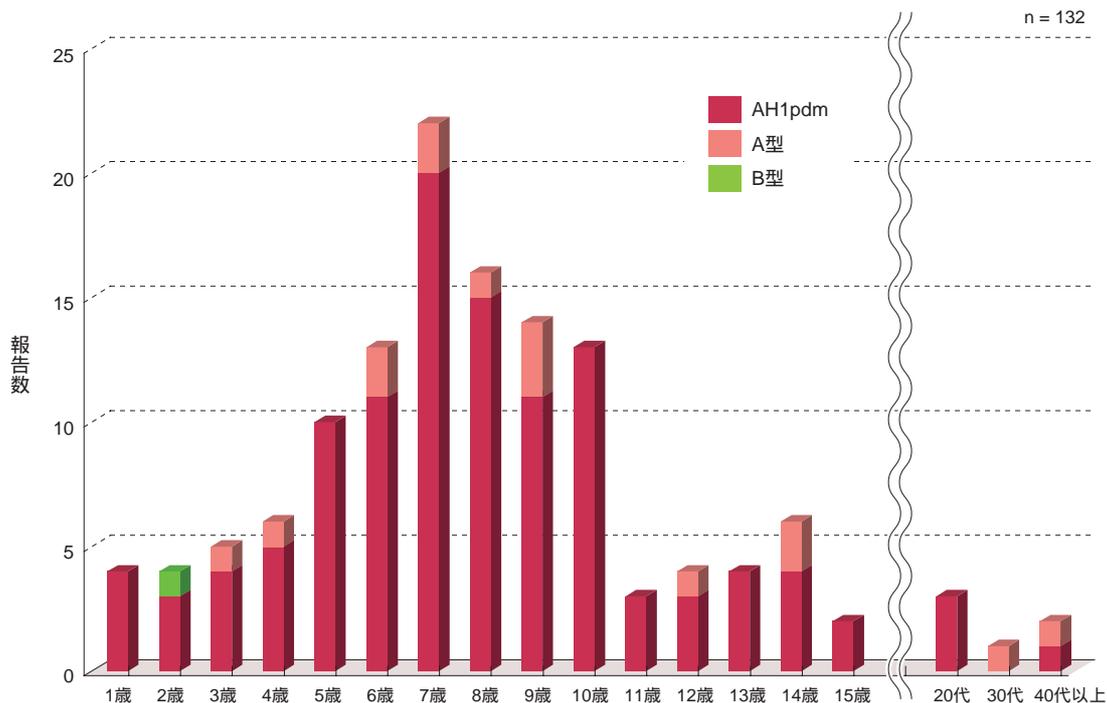
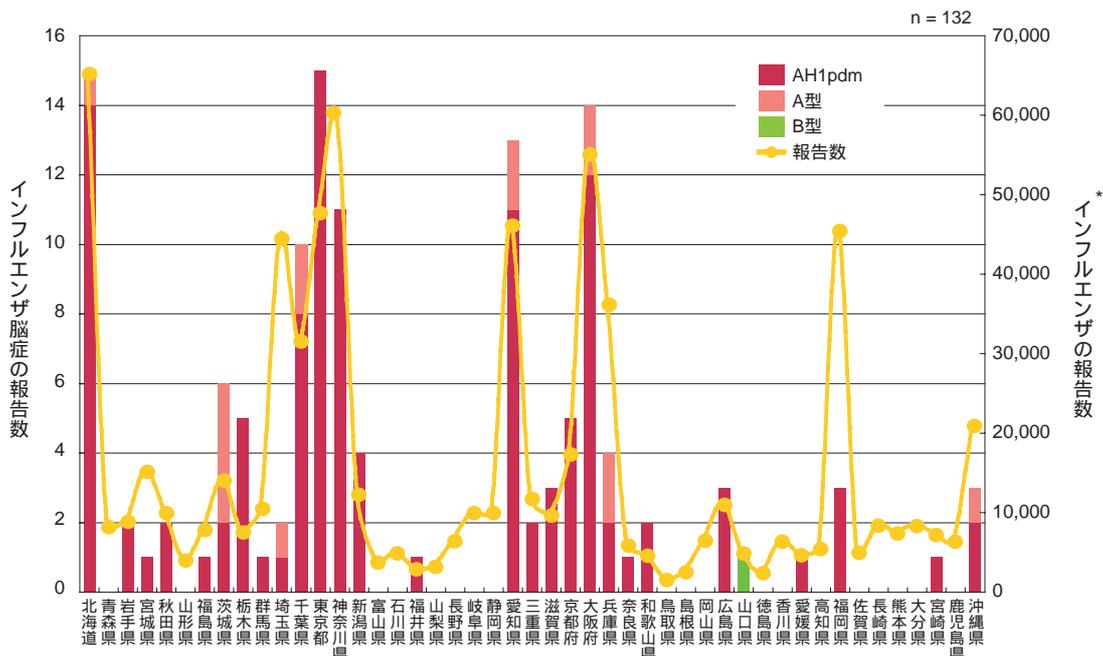


図3. インフルエンザ脳症及びインフルエンザの都道府県別累積報告数(2009年第28 ~ 45週)



* 全国約5,000カ所(小児科3,000、内科2,000)の定点医療機関からの報告数

感染症法に基づく感染症発生動向調査における急性脳炎(脳症)の届出においては、意識障害の持続時間などの臨床経過や治療内容の情報を求めているものではない。しかし、新型インフルエンザの重要な臨床像のひとつである脳症について、それらの情報を明らかにすることは、現在臨床の場で治療にあたる医療従事者のみならず、国民や保健行政担当者にとっても重要と思われる。そのため、国立感染症研究所感染症情報センターでは、第28週以降にA型インフルエンザウイルス(AH1pdmを含む)による脳症として届出のあった症例について、各自治体の感染症情報センターを通じて届出医師に対して、基礎疾患の有無、臨床経過等の詳細について追加調査を依頼しており、現在もまだ調査を継続中である。可及的速やかに広く情報を還元することの有用性を考慮し、10月16日までに回答を得られた20例についての調査結果を第一報としてすでに公開した(<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/idwr09week41.html>)。ここでは第二報として、11月13日までに得られた回答を加えた60例のAH1pdmによる急性脳症の症例についての調査結果を記述する(表1、表2)。

60例の年齢分布は1~24歳(中央値8歳)であり、男性35例、女性25例である。25例に基礎疾患や既往歴を認めており、その内訳は熱性けいれん12例、気管支喘息9例であった。気管支喘息9例のうち現在治療薬の投与が行われているのは4例であり、そのうちテオフィリン製剤が投与されていたのは1例であった。

症状では、全症例に意識障害を認めた。発熱から意識障害出現までの期間は0日(同日)が12例、1日が36例、2日が8例であったが、3日、4日、7日、8日との回答もそれぞれ1例ずつ認めた(中央値1日)。意識障害の程度はJapan Coma Scale(JCS)20以上が34例、JCS10が9例、JCS10未満が16例であり、1例は判定不能であった。意識障害の持続時間は不明の2例を除く58例中では、48時間以上が19例、24~48時間が9例、12~24時間が15例、12時間未満が15例であった。けいれんは31例に認められ、うち11例はけいれん重積を認めた。異常行動や異常言動は45例に認められた。

表1. インフルエンザウイルスA(H1N1)pdmによる急性脳症60例の臨床像(背景、症状、検査所見)

背景	
年齢(中央値)	1-24歳(8歳)
性別	男性35(58%)、女性25(42%)
基礎疾患・既往歴あり	25/60(42%)(熱性けいれん12、 気管支喘息9、その他6)
症状	
意識障害	60/60(100%)
発熱から意識障害までの期間(中央値)	0-8日(1日)
けいれん	31/60(52%)
異常行動・言動	45/60(75%)
検査所見	
脳波検査で所見あり	35/47(74%)
頭部CT検査で所見あり	23/56(41%)
頭部MRI検査で所見あり	14/47(30%)

表2. インフルエンザウイルスA(H1N1)pdmによる急性脳症60例の臨床像(治療、合併症、転帰)

治療	
抗インフルエンザ薬	オセルタミビル38/60(63%)、ザナミビル 13/60(22%)、両者の併用9/60(15%)
発熱から投与開始までの期間(中央値)	0-6日(1日)
意識障害発症日と投与開始日の関係	意識障害出現の前日までに投与開始12/60(20%)、 同日に投与開始38/60(63%)、翌日以降に投与開始10/60(17%)
解熱剤の使用	36/59(61%、1例を除きアセトアミノフェン製剤)
ステロイドパルス療法	47/60(78%)
グロブリン療法	23/60(38%)
脳低体温療法	6/60(10%)
血漿交換	1/60(2%)
人工呼吸器の使用	12/60(20%)
合併症、転帰	
脳症以外の合併症あり	22/60(37%)
うち肺炎、気管支炎	17/22(77%)
転帰	死亡3/59(5%)、後遺症あり7/59(12%)、 治癒・軽快49/59(83%)
入院日数(死亡例を除き情報の得られた50例)(中央値)	2-39日(9日)

AH1pdm感染の診断はすべてRT-PCR法により行われていた。脳症に関連した検査として脳波検査が施行されていたのは47例で、うち35例で高振幅徐波などの所見を認めていた。全症例に対して頭部CT検査もしくは頭部MRI検査が施行されており、いずれかの検査で何らかの所見を認めたのは60例中32例であった。頭部CT検査では脳浮腫を認めた症例が多く、予後不良例では視床や脳幹に低吸収域を認めた症例もあった。頭部MRIではT2強調画像や拡散強調画

像で脳梁膨大部などに高信号領域を認めたとの回答が複数例あった。脳波検査と頭部画像検査(CTまたはMRI)のいずれにも異常所見を認めなかった症例は8例であった。髄液検査は42例で施行されたとの記載があり、うち4例で髄液中の細胞数増多、1例で蛋白濃度上昇(66.4 mg/dl)とIL-6上昇(143 pg/ml)の所見ありと報告された。

全症例に対して抗インフルエンザウイルス薬が投与されており、その内訳はオセルタミビル38例、ザナミビル13例で、9例ではこの2剤が短期間併用されていた。発熱から抗インフルエンザウイルス薬投与までの期間は0日(同日)が15例、1日が32例、2日が10例、3日、4日、6日が各1例(中央値1日)であった(6日の症例は経口摂取が困難だったためとのことであった)。意識障害が出現する前日までに抗インフルエンザウイルス薬の投与が開始されていたのは12例、意識障害が出現した日に投与が開始されたのは38例、意識障害出現日より以降に投与が開始されたのは10例であった。なお、意識障害出現日に投与が開始された場合の前後関係については、今回の調査ではその詳細については不明である。さらに、薬剤別にみると、オセルタミビル投与例(38例)では意識障害出現の前日までの投与開始が6例、意識障害出現当日の投与開始が22例、翌日以降の投与開始が10例であり、ザナミビル投与例(13例)では意識障害出現の前日までの投与開始が6例、当日の投与開始が7例であった。両剤が投与されていた9例のうち、オセルタミビルが先に開始されたのは3例、ザナミビルが先に開始されたのは1例、どちらが先に開始されたか不明(もしくは同時に開始)であったのは5例であり、すべての症例において、意識障害出現日に投与が開始されていた。抗インフルエンザウイルス薬の投与量はいずれも通常量であった。解熱剤は36例で使用されていたが、1例(イブプロフェン)を除きすべてアセトアミノフェン製剤であった。

インフルエンザ脳症に対する治療としてステロイドパルス療法、グロブリン療法、脳低体温療法、血漿交換がそれぞれ47例、23例、6例、1例で行われていた。シクロスポリン療法、アンチトロンビンIII大量療法を用いたとの回答はなかった。13例ではこれらのいずれも行われていなかった。人工呼吸器は12例で使用されていた。

22例において脳症以外の合併症を認めたとの回答が得られた。その内訳は気管支炎もしくは肺炎が17例、低Na血症が2例、気管支喘息発作が1例、腎不全が1例、多臓器不全が1例であった。転帰についての回答が得られた59例のうち、死亡3例、後遺症ありが7例、治癒・軽快が49例となっていた。入院日数についての情報が得られた50例(死亡例は除く)の入院日数は2 ~ 39日(中央値9日)であった。後遺症の内容は精神神経障害を7例全てに認めたが、3例では身体障害(運動麻痺や失調)の合併も認められた。死亡例3例(4歳、5歳、7歳)の発熱から意識障害出現までの日数は1日2例、2日1例であり、発熱から死亡までの日数は2日、4日、9日各1例であった。

以上のように、多くの症例ではインフルエンザ発症後比較的早期に脳症の症状が発現しており、抗インフルエンザウイルス薬やステロイドパルス療法を中心とした治療が行われて83%が軽快しているものの、中には後遺症を残したり死亡に至る症例も認められており、ひきつづき注意深く対応していく必要がある。今後さらに多くの症例についての情報を得ることで、より精度の高い調査になることが期待される。

今回の調査にご協力いただき、貴重な情報を提供いただいた医療機関届出医師・関係自治体の皆さまに深く感謝するとともに、今後も引き続きご協力をいただければ幸いです。本調査結果が広く臨床現場をはじめとする関係各機関の方々に還元され、活用していただければ幸いです。



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュースを掲載しています。

ウクライナでのパンデミック(H1N1)2009

2009年11月3日 - 更新1

ウクライナ保健省によれば、現在、235例の集中治療を必要とした症例を含む、25万人以上のインフルエンザ様疾患の症例が記録されている。11月2日までに70例の急性呼吸器疾患による死亡例が報告されている。

ウクライナ西部地区で、最も高い割合の急性呼吸器疾患およびインフルエンザ様疾患の発生が引き続いている。Kyiv地区の症例発生状況もまた急激に上昇している。

ウクライナでの実験室診断では、最も影響の出ている2地域の患者から得られたサンプルからパンデミックH1N1インフルエンザウイルスが確認されている。パンデミックウイルスは、世界中で急速に主要なインフルエンザ株となっているので、ウクライナのほとんどのインフルエンザ症例もH1N1ウイルスによっていると仮定することができる。

どこの地域であっても、WHOは実験室診断のH1N1感染の確定診断が無い場合であっても、治療基準に合致する患者に対するオセルタミビルもしくはザナミビルの抗ウイルス薬を用いた早期治療を勧告する。

ウクライナ政府の要請により、9名の様々な分野の専門家で構成された調査チームが既にWHOによって派遣され、昨晚までにKyivに到着している。本日早朝には、ウクライナ保健大臣とチームの間で状況の協議が行なわれた。

チームメンバーは、現在、症例の特徴やアウトブレイクの疫学状況についての実地疫学調査を進めている。調査は、多数の明らかに重篤な急性呼吸器疾患が報告されているLviv地域から行われる。チームの2名のウイルス学者が、診断支援のため、Kyivの国立インフルエンザセンターと中央衛生疫学局で活動を開始した。

保健省によって送られたサンプルは、本日、英国、ロンドンのMill HillにあるWHOインフルエンザ協力センターに届けられた。センターでは、確認検査を実施し、ウイルスの性状検査を進める。

多くの疑問が未解決のまま残っている。ウクライナのアウトブレイクは、冬季の北半球における流行、とりわけ東ヨーロッパの典型的な医療体制におけるウイルスの流行の指標となるかもしれない。

早期警報として、今回のアウトブレイクは重要となる可能性があり、WHOはウクライナ政府の隠し立ての無い報告や開かれたサンプルの共有を賞賛する。

WHOは、ウクライナを含め、引き続き国境閉鎖や海外渡航の制限を推奨しない。これまでの経験から、このような対策はウイルスの伝播を止めることにならない。

パンデミック(H1N1) 2009 短報: no.15 - インフルエンザに感染した家畜

2009年11月5日

現在のところ、WHOのインフルエンザサーベイランスネットワークにおける広範囲の実験室検査では、H1N1パンデミックウイルスがより強い病原性を持つウイルスに変異を起こしたという事実を認めていない。現在認可されているパンデミックインフルエンザワクチンは、流行株としっかりと一致しており、高い予防効果が期待されている。

H1N1ウイルスの変異に対する警戒は、ヒトと同様に、哺乳類や鳥類といった感受性のある動物のインフルエンザ感染を監視することである。哺乳類に流行するインフルエンザAウイルスのほとんどが、選択的に1つの種の間で感染が成立するのに対し、パンデミックウイルスは異種間での感染伝播が起こることが知られている。

ブタにおける感染

当初関心は、ヒト、鳥、ブタのインフルエンザウイルスすべてに感受性のあるブタに集中した。インフルエンザウイルスは8つの遺伝子の分節が存在し、ブタは理論的に複数のインフルエンザに同時に感染した場合、遺伝子の交差を行なう「器」としての役割を果たす可能性がある。H1N1ウイルス遺伝子にこのような過程で変異が起こった場合、公衆衛生的に多大な影響を及ぼす結果となる。

新型H1N1パンデミックウイルスが認められてから、少数のブタの群れにおけるウイルス感染が報告された。限られたエビデンスではあるが、これらの感染はヒトからブタにウイルスが直接感染伝播したことを示している。これらの独立した事例は、既にヒト-ヒト感染により感染拡大しているパンデミックの大勢に影響を及ぼすものではない。ヒトの感染が拡大するにつれ、ヒトからブタへの感染頻度は増すと考えられる。

他の生物種におけるインフルエンザ

さらに、チリやカナダからは七面鳥のH1N1ウイルス感染が報告され、アメリカからはペットへの感染が報告されている。繰り返しになるが、これらは散発事例であり、ヒトの健康被害のリスクを増加させるものではない。

ウイルスは通常の調理を行なう温度で死滅する。正しく調理された肉やその他の動物製品、食品を消費することと、ヒトがインフルエンザに感染したことを関連付ける事実は認められていない。

他の懸念は、いくつかの国の家禽で引き続き地域流行を起こしている高病原性H5N1鳥インフルエンザの存在である。H5N1ウイルスが、今回のパンデミックの状況下で、どのような動きをするのか、誰もわからないが、現在のところ、データを見る限り心配の必要はなさそうである。

ごく最近、デンマークの複数のミンク牧場からミンクの新型H3N2インフルエンザ感染の報告があった。ウイルス遺伝子配列の解析の結果、これまでに流行が認められていないヒトとブタの遺伝子の組み合わせを持ったウイルスであることが判明した。牧場の労働者への調査では、ヒトへの感染は認められていない。しかしながら、今回の事例は、インフルエンザウイルスの持続的な進化の生態、突然変異の可能性、継続した警戒が動物でも必要であることを示している。

詳細な監視が必要

これらの最新の知見は、動物やヒトといった複数の宿主の中でインフルエンザAウイルスが様々な遺伝子再集合していることを示しており、ブタ以外の動物においても新型インフルエンザウイル

スが発生する可能性を示唆している。このような状況は、改めて詳細な状況の監視と、公衆衛生当局と家畜担当当局との協力の必要性を示している。

家畜動物において、インフルエンザの感染が認められた場合、WHOはその農場の労働者の呼吸器疾患様症状のモニタリングと、症状を呈示した者へのH1N1感染確認の検査を行なうことを推奨する。FAO(食糧農業機関)とOIE(国際獣疫局)は、病状を呈した動物は検査を行なったうえで適正に管理し、完全に症状から回復してからそれらの動物を移動や販売するように推奨している。

加えて、感染した動物やヒトから得られたウイルスに対して完全な塩基配列を行い、病原性の変化、宿主域の変化や抗ウイルス薬への耐性能獲得を起こしていないか調査するべきである。このような塩基配列の調査は、症例やアウトブレイクの発端を知る上でも重要である。

公的通知

鳥類における高病原性鳥インフルエンザウイルス感染事例は、他の動物における新興感染症と同様にOIEに必ず報告しなくてはならない。パンデミックH1N1ウイルスや他の新型インフルエンザウイルス感染症も「新興感染症」の基準を満たす場合、通知義務に含まれる。

動物におけるこれらのイベントは、疫学調査やウイルス学的調査の結果とともにOIEの通知要綱に沿って報告されるべきである。



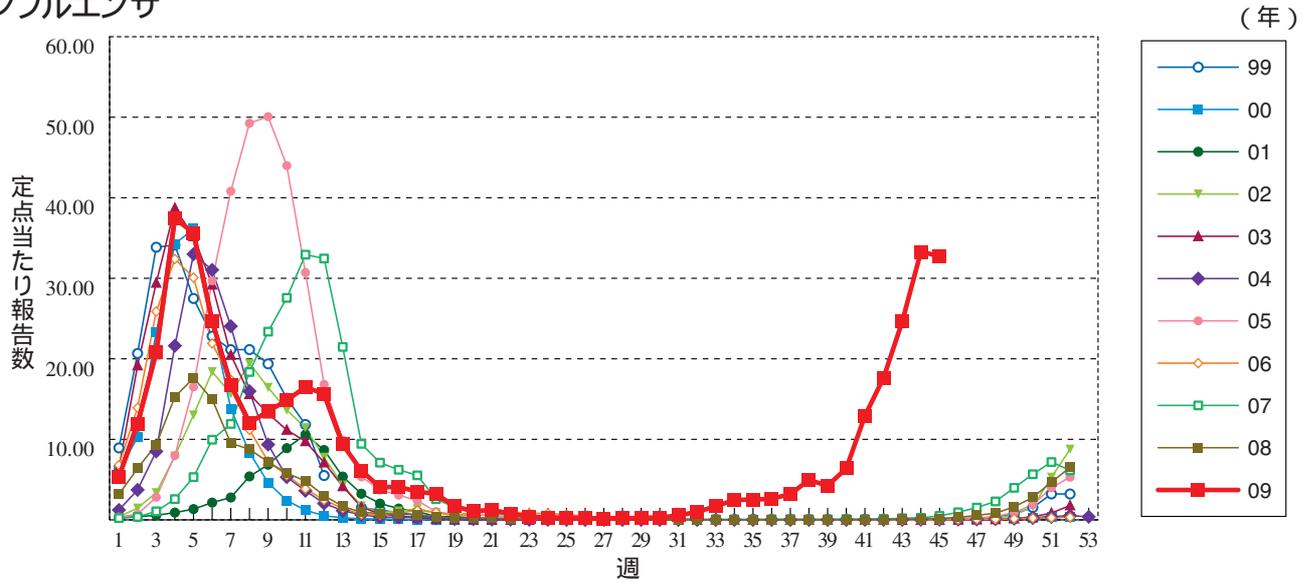
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

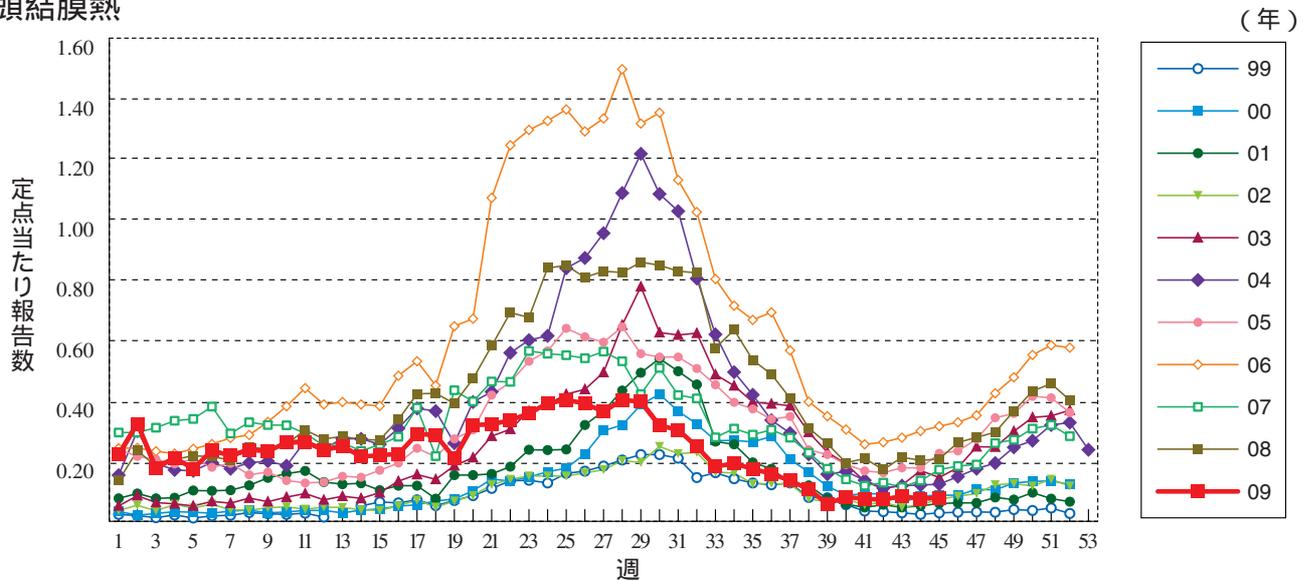


グラフ総覧(45週)

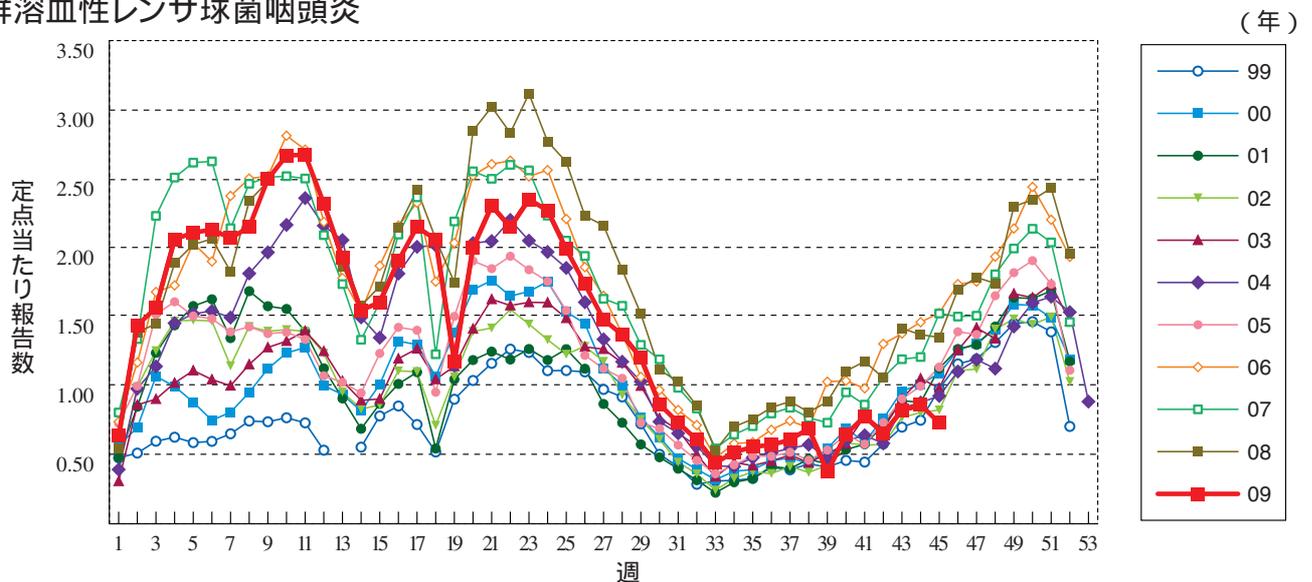
インフルエンザ



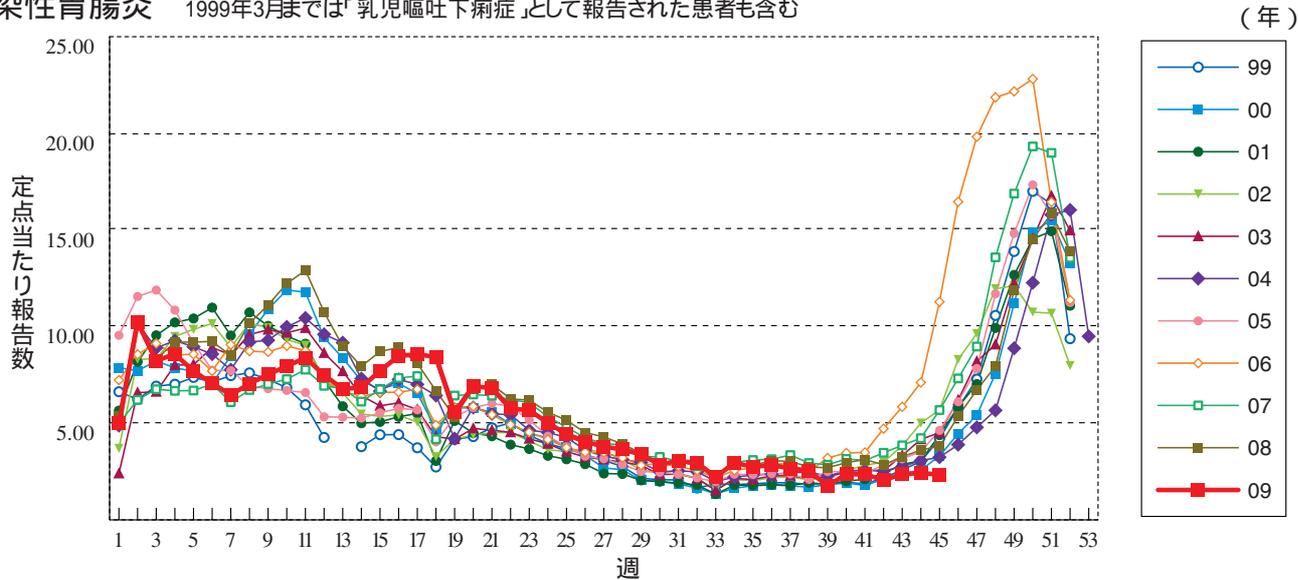
咽頭結膜熱



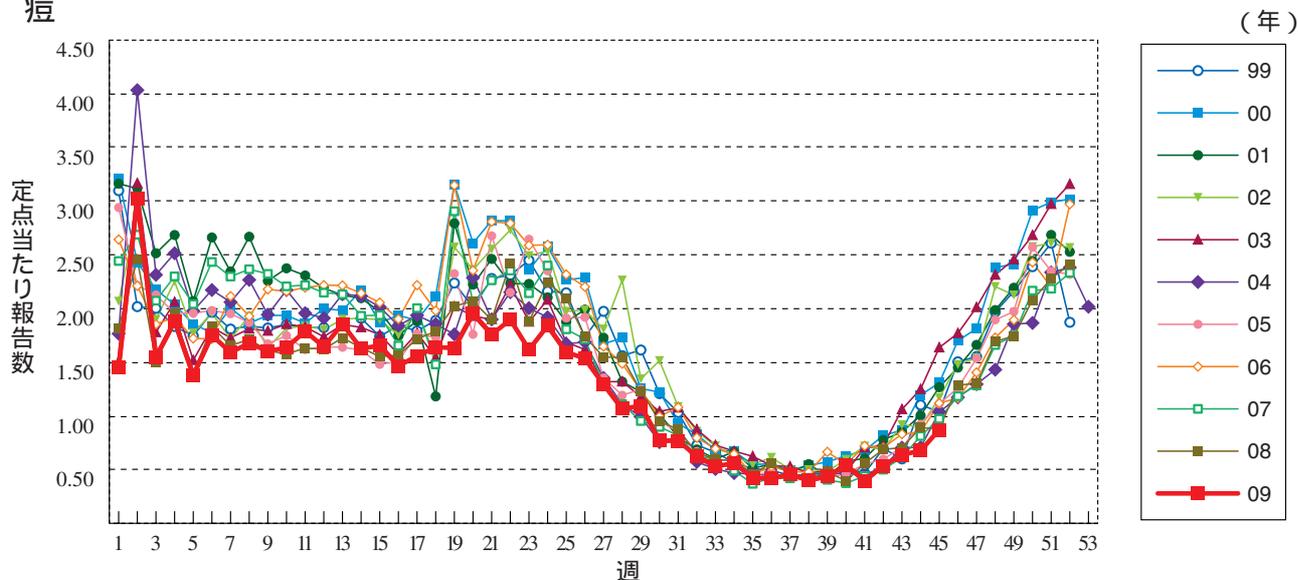
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



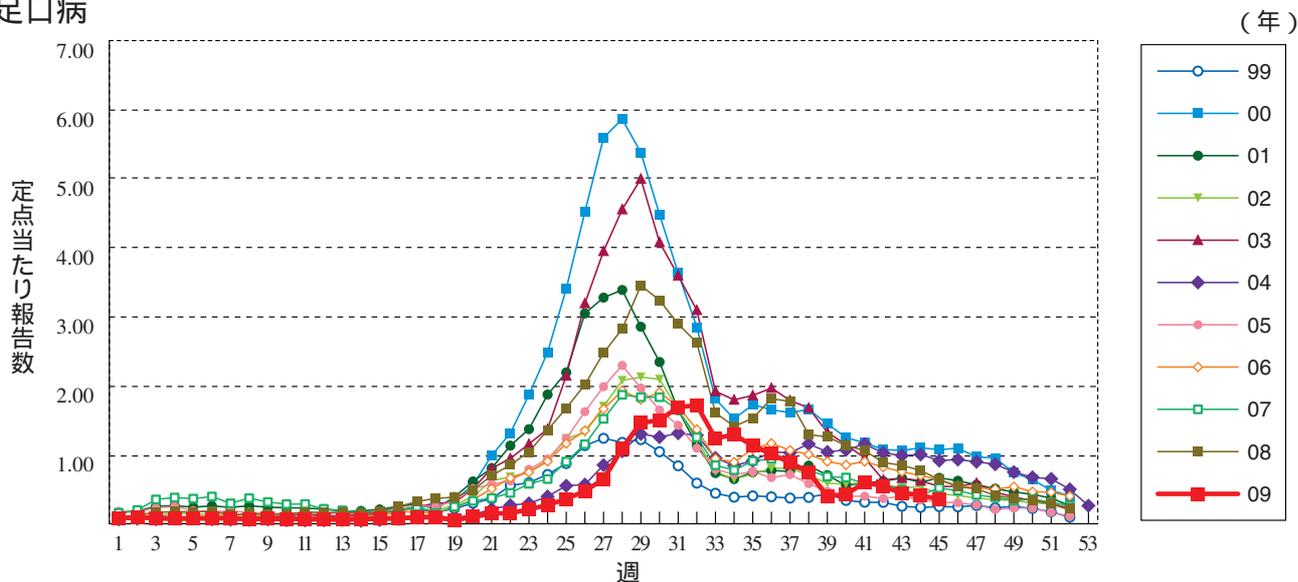
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



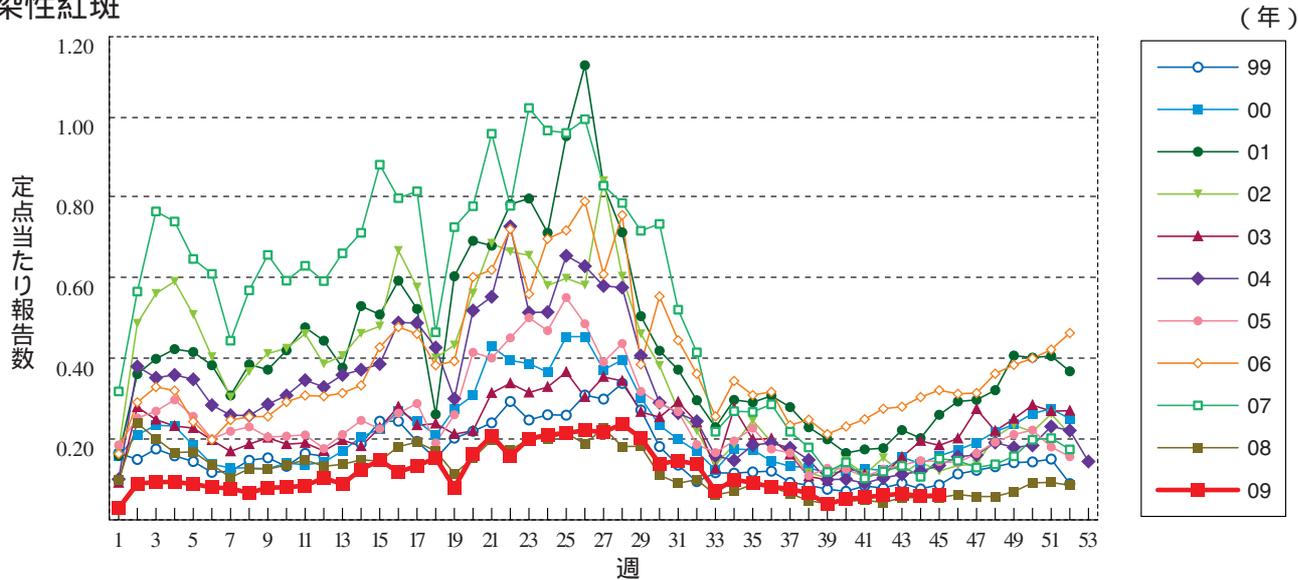
水痘



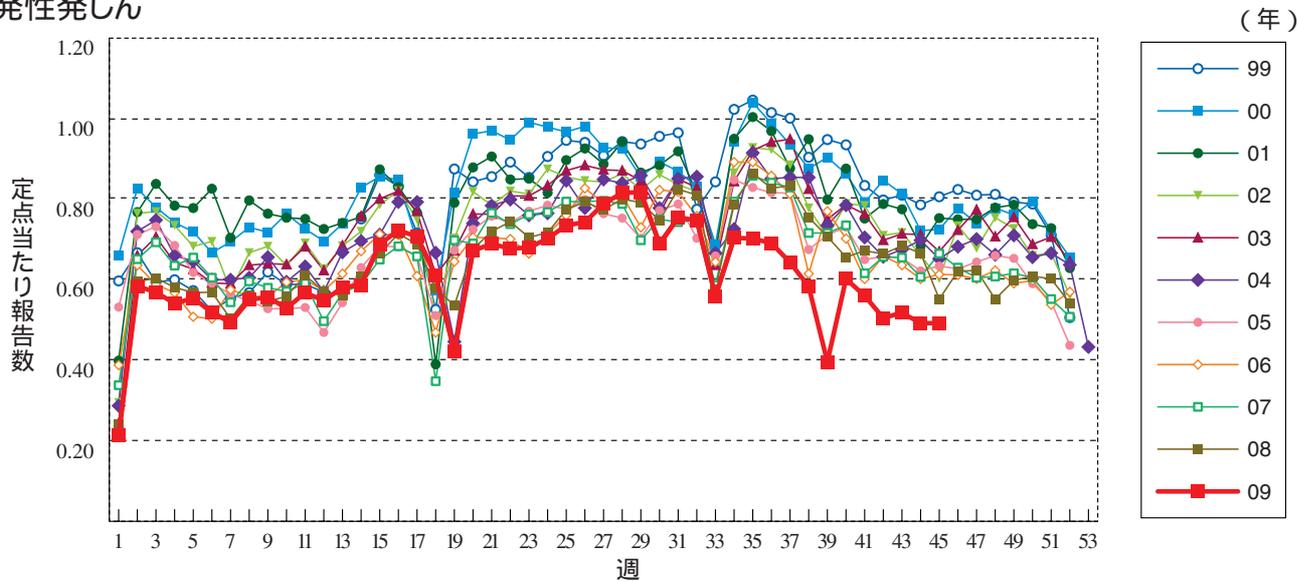
手足口病



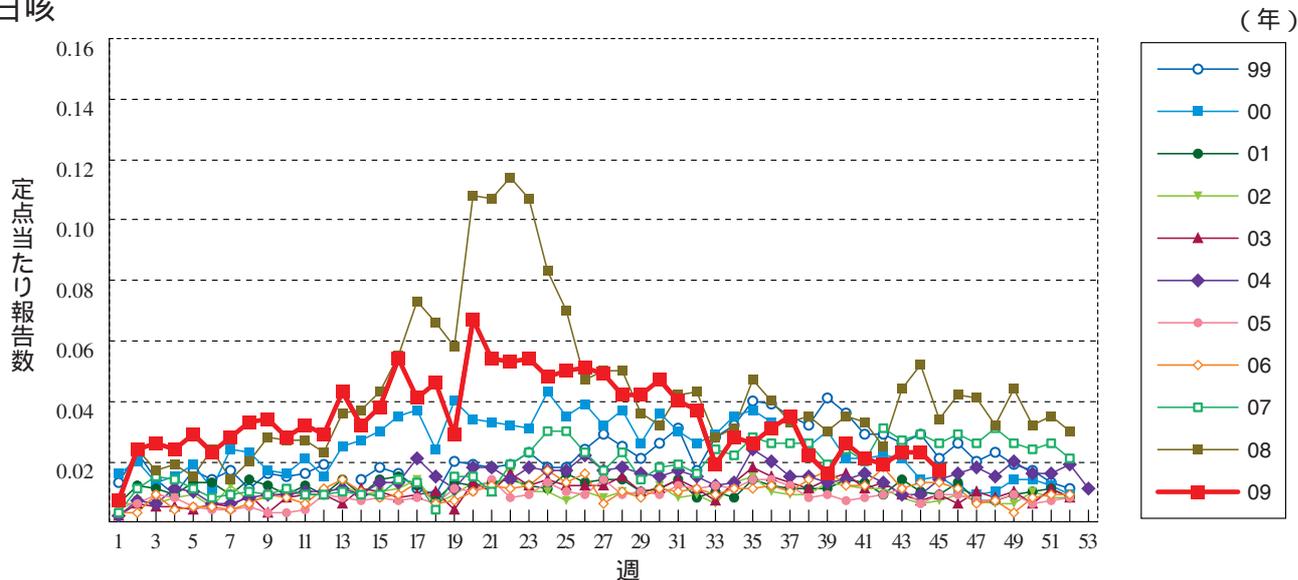
伝染性紅斑



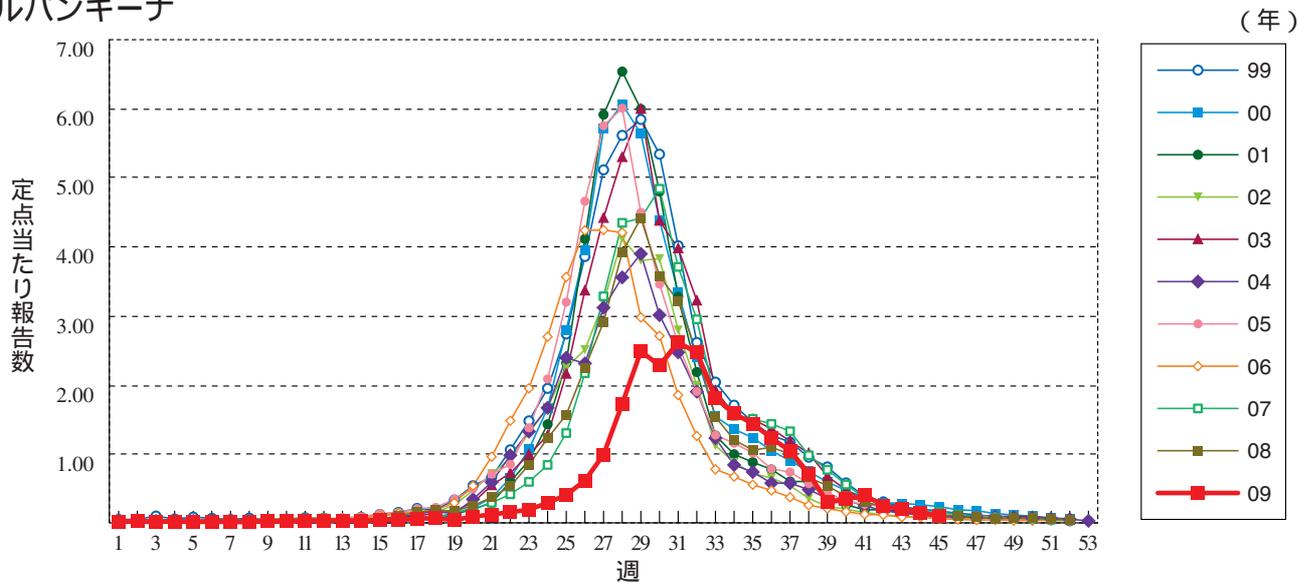
突発性発しん



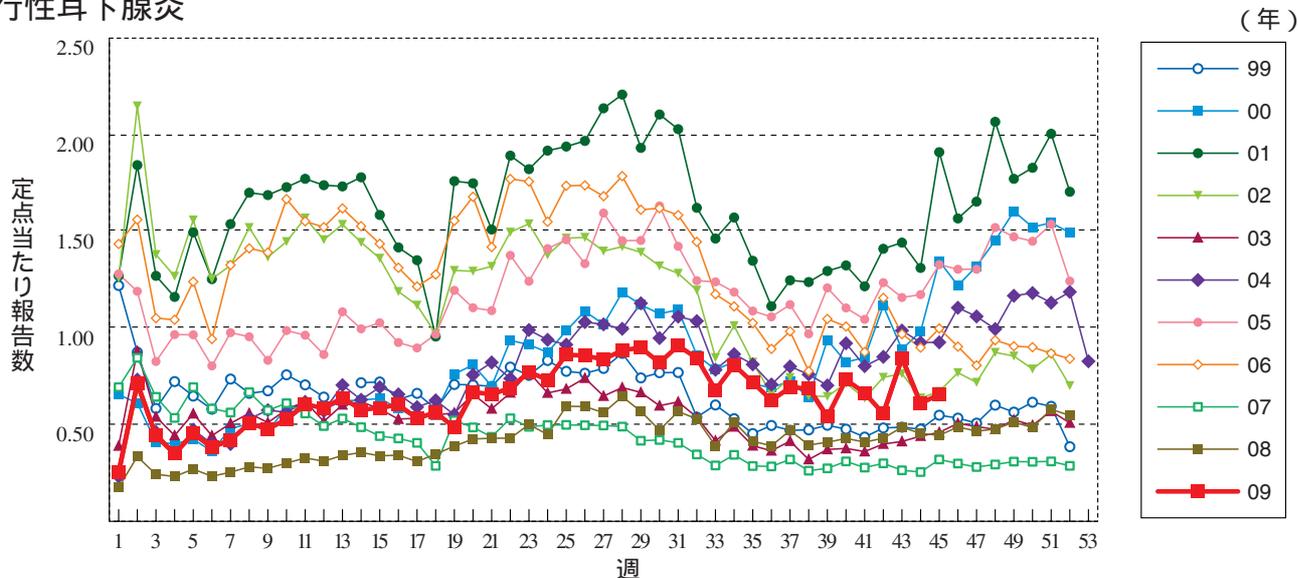
百日咳



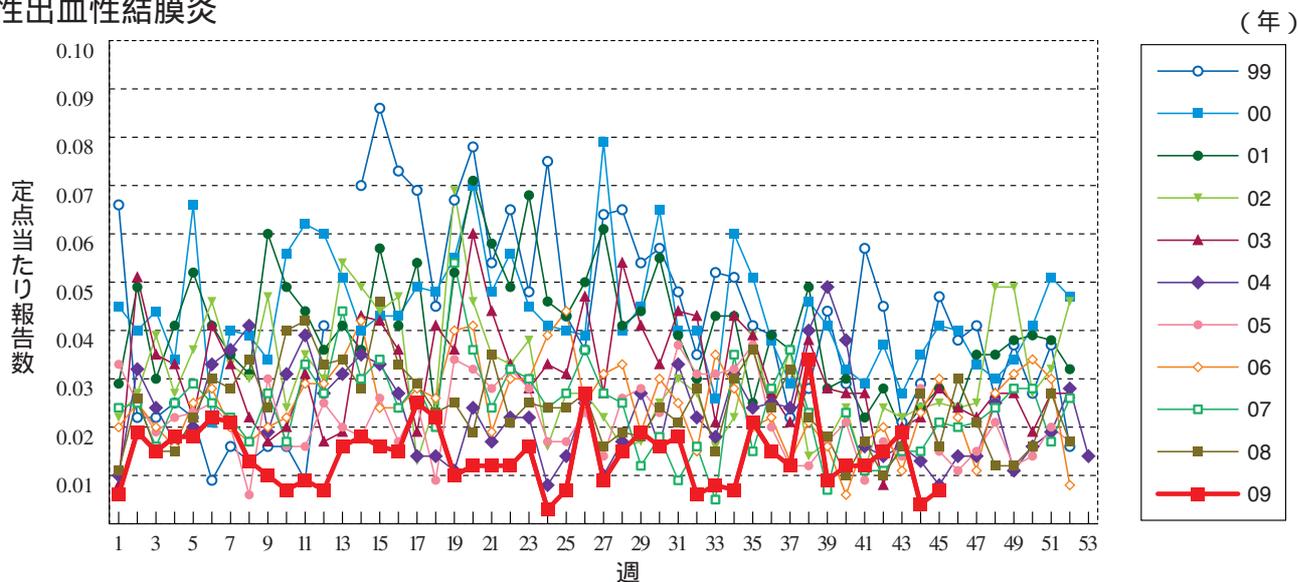
ヘルパンギーナ



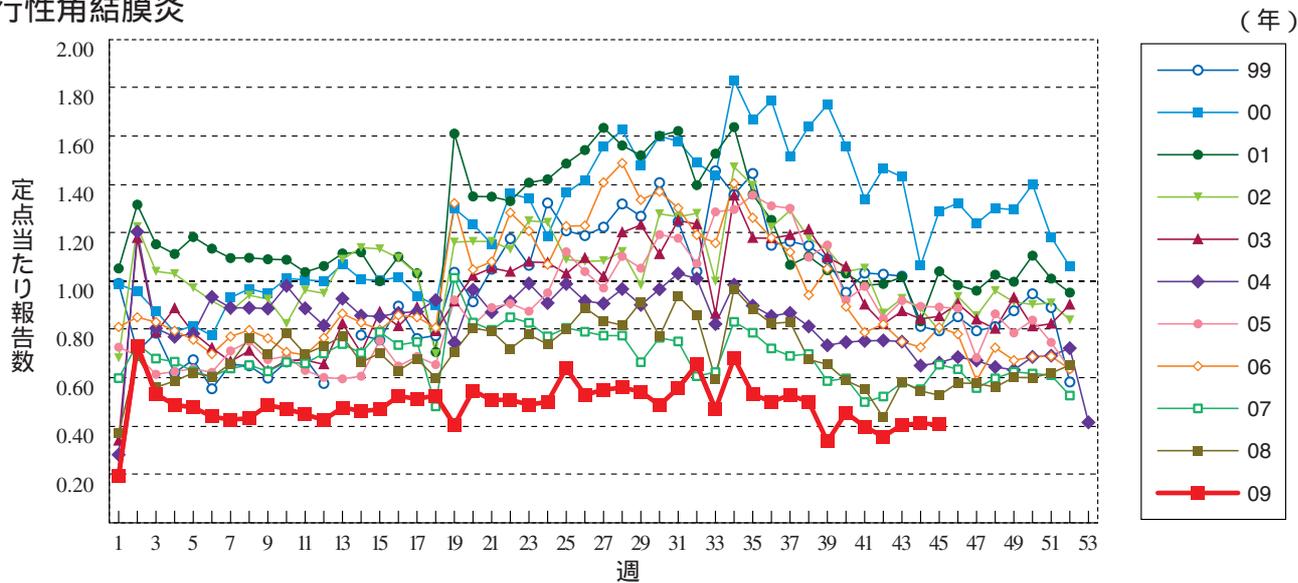
流行性耳下腺炎



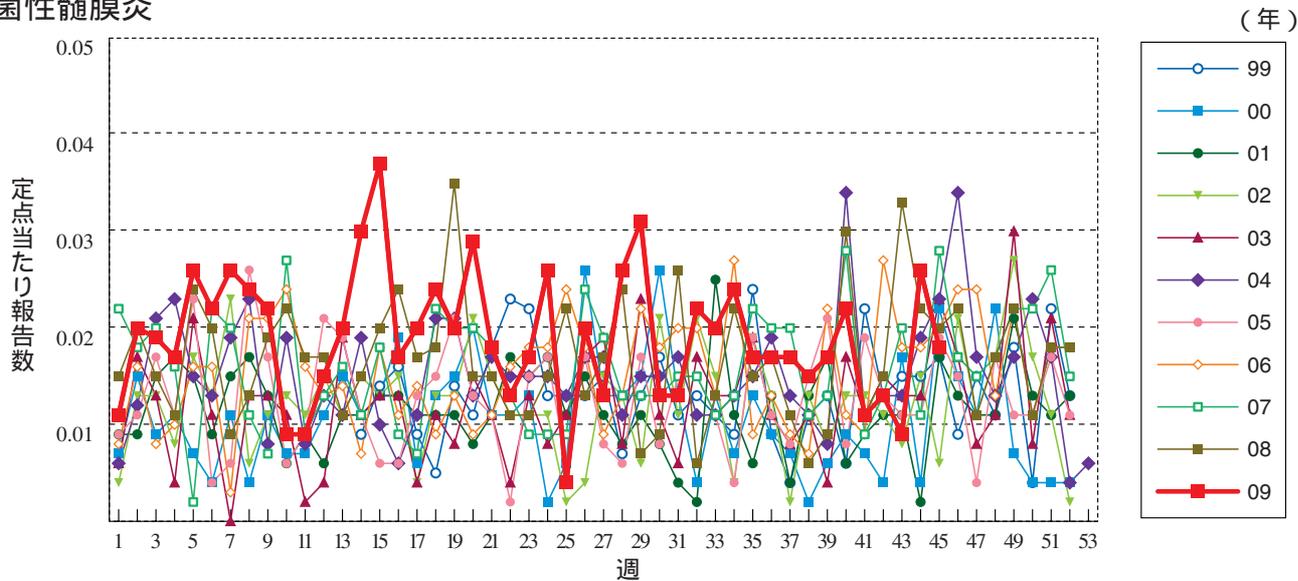
急性出血性結膜炎



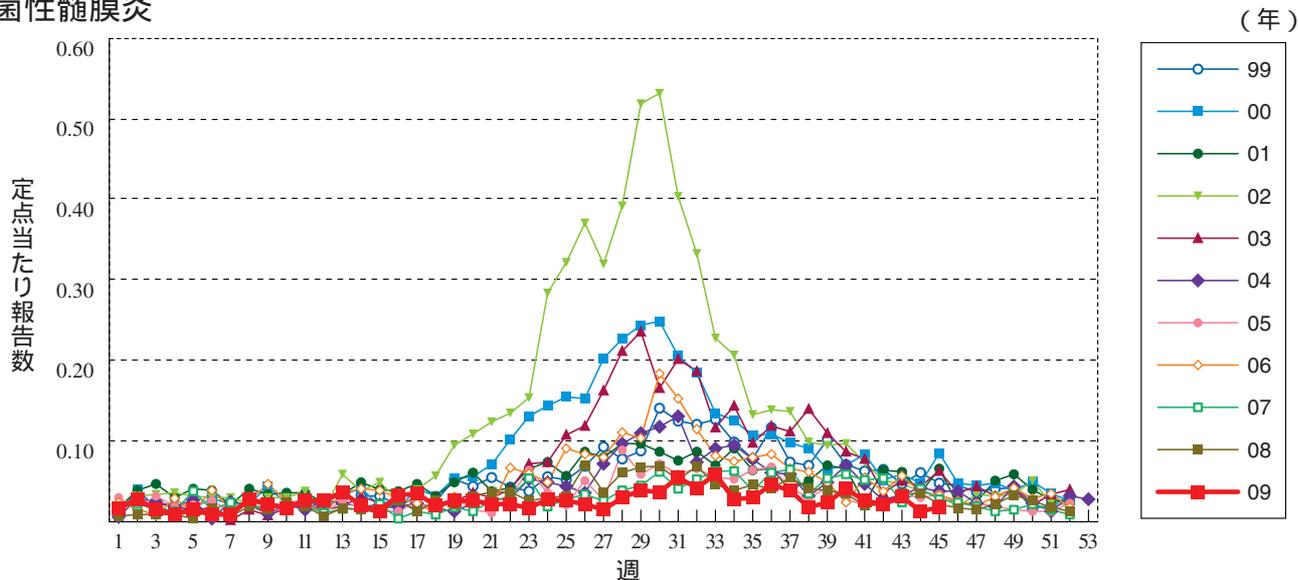
流行性角結膜炎



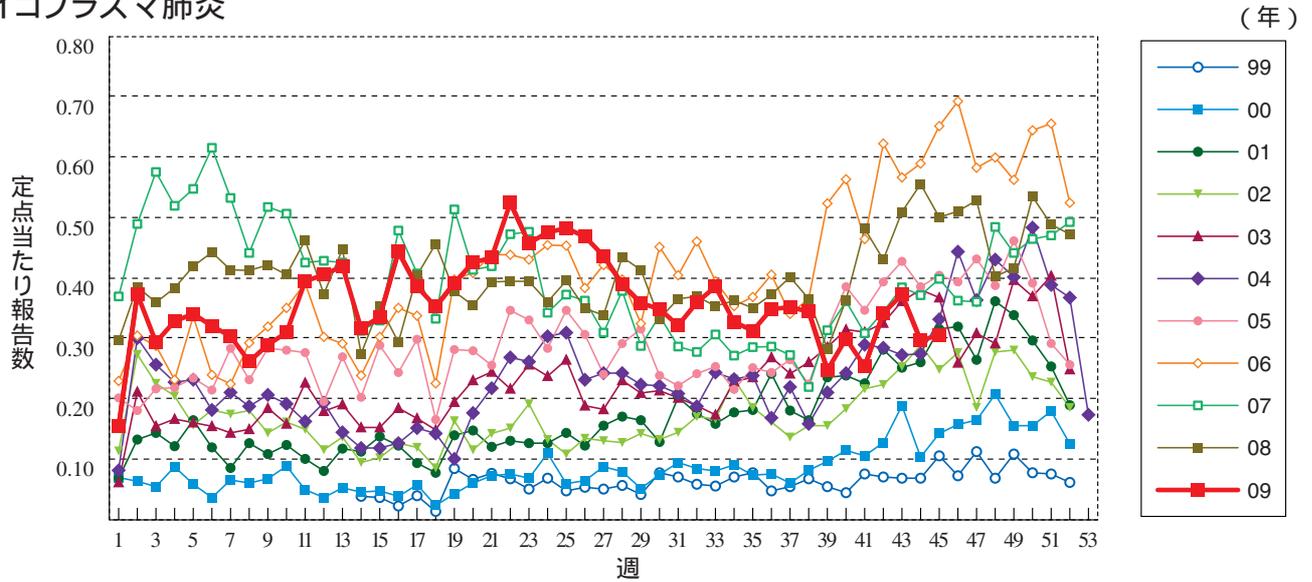
細菌性髄膜炎



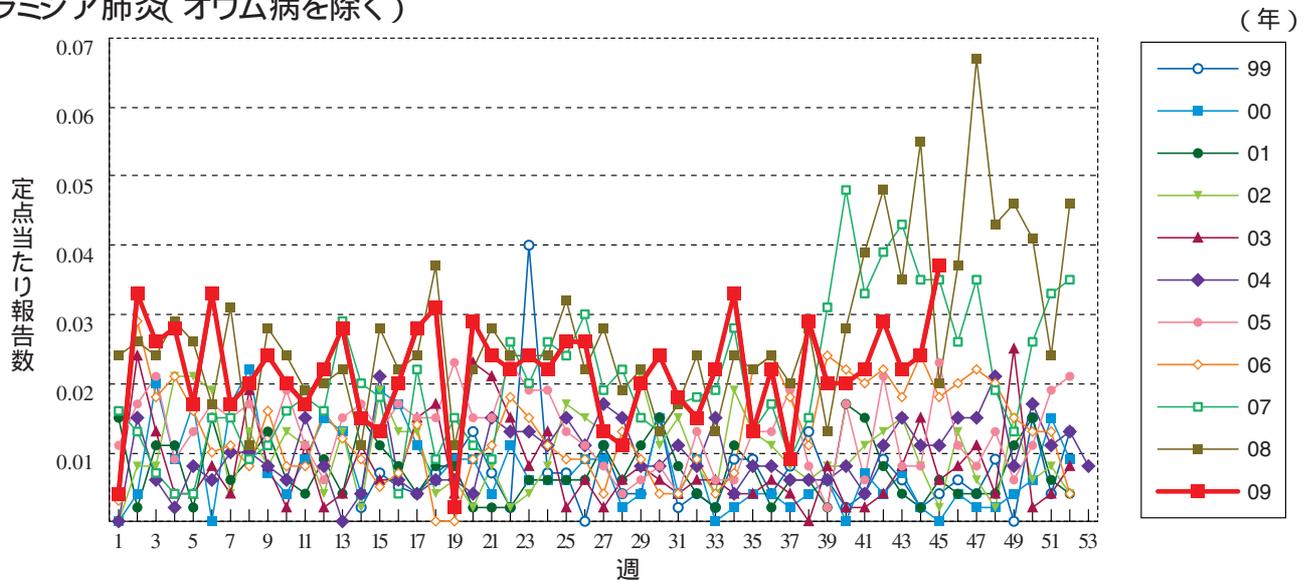
無菌性髄膜炎



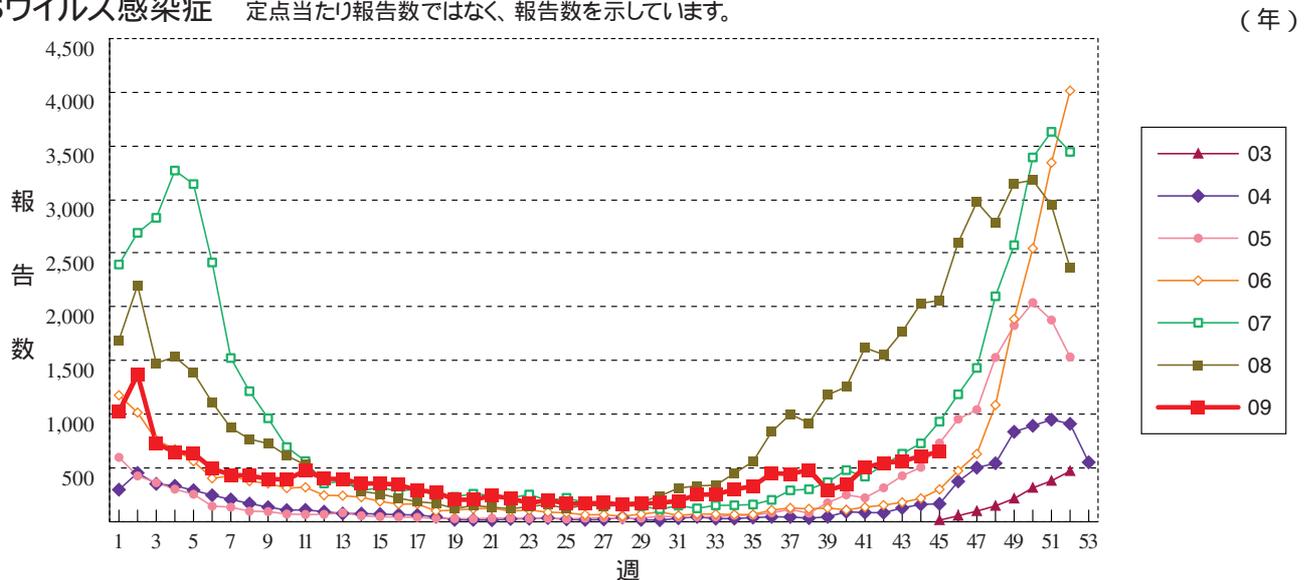
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。





45週のデータ

注) 表中の報告数は11月11日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されず、
新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年45週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 瘡		南米出血熱		ペ スト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	225	22140
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	652
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	286
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	158
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	270
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	134
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	163
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	237
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	424
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	253
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	133
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1020
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	1249
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	3404
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	1599
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	290
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	164
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	159
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	135
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	248
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	439
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	566
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	1736
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	329
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	220
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	524
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1225
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	761
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	275
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	236
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	141
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	312
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	502
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	241
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	175
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	186
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	239
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	136
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	937
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	173
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	308
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	309
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	232
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	224
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	334
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	240

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年45週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		鳥インフルエンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	15	1	152	37	3524	1	25	1	22	-	45	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	85	-	1	-	-	-	15	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	-	1	-	-	-	1	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	57	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	91	-	-	-	1	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	1	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	70	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	31	-	-	-	-	-	1	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	28	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	27	-	-	-	-	-	2	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	63	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	117	-	1	-	-	-	1	
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	10	1	145	-	1	-	-	-	3	
東京都	-	-	-	-	-	-	3	-	39	4	290	-	10	-	11	-	6	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	146	1	2	-	3	-	1	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	31	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	90	-	-	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	41	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	27	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	46	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	59	-	1	-	2	-	2	
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	1	13	2	191	-	2	-	3	-	2	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	33	-	-	-	-	-	2	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	24	-	-	-	-	-	1	
京都府	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	104	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	5	2	158	-	2	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	170	-	1	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	45	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	98	-	2	-	-	-	1	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	97	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	38	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	68	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	3	296	-	-	-	-	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	177	-	-	-	1	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	39	-	-	-	-	-	1	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	43	-	-	1	1	-	2	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	107	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55	-	1	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66	-	-	-	-	-	1	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年45週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	104	-	19	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	1	-	17	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	20	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	10	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年45週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	156	1	81
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	32	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	6
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	31
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	6
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年45週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	5	108	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年45週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	53	-	-	-	7	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	1	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年45週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	5	576	-	12	-	-	7	663	2	188	10	310	-	14	1	112
北海道	-	-	-	19	-	-	-	-	-	20	-	3	-	16	-	2	-	1
青森県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	9	-	-
岩手県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	5	-	1	-	5	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	13	-	-	-	-	1	14	-	6	-	1	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1
山形県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	3
福島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	12	-	-	-	4	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	5	-	2	1	12	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	6	-	3	1	7	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	8	-	5	-	4	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	25	-	-	-	-	-	25	-	11	1	15	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	20	-	1	-	-	-	43	-	3	-	29	-	-	-	3
東京都	-	-	1	44	-	-	-	-	3	120	-	28	1	35	-	2	1	12
神奈川県	-	-	-	32	-	1	-	-	1	51	1	15	-	13	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	20	-	1	-	-	-	6	-	-	-	15	-	-	-	3
富山県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	5	-	1	-	2	-	-	-	-
石川県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	2
長野県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4	-	-	-	3
岐阜県	-	-	2	21	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	24	-	-	-	-	-	11	1	6	-	2	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	38	-	-	-	-	1	49	-	16	1	19	-	-	-	7
三重県	-	-	-	8	-	1	-	-	-	3	-	-	1	4	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	9	-	2	1	6	-	-	-	2
京都府	-	-	-	11	-	-	-	-	-	17	-	5	-	7	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	28	-	-	-	-	1	79	-	16	-	41	-	1	-	8
兵庫県	-	-	1	36	-	-	-	-	-	37	-	14	2	5	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	9	-	1	1	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	8	-	1	-	2	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	16	-	8	-	2	-	-	-	3
広島県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	8	-	11	-	9	-	-	-	4
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	3	-	1	-	-	-	1
高知県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	2	-	3	-	-	-	1
福岡県	-	-	1	11	-	-	-	-	-	17	-	8	-	5	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	3	-	2	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6	-	5	-	8	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	8	-	7	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年45週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	90	8	1207	-	64	-	9	-	1	3	588	1	103	-	-	2	88
北海道	-	4	-	27	-	3	-	-	-	-	-	13	-	7	-	-	-	6
青森県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
宮城県	-	-	1	7	-	1	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-	-	1
秋田県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	3	-	22	-	3	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	16	-	1	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	3	-	13	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	6	-	29	-	-	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	6
千葉県	-	4	-	41	-	2	-	2	-	-	-	22	-	6	-	-	1	5
東京都	-	8	5	392	-	19	-	1	-	-	2	166	-	7	-	-	-	12
神奈川県	-	7	-	65	-	6	-	1	-	-	-	27	-	4	-	-	1	18
新潟県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	2
富山県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	1	2	-	6	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
長野県	-	1	-	10	-	-	-	-	-	1	-	4	-	4	-	-	-	2
岐阜県	-	2	-	12	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	23	-	1	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	8	-	75	-	1	-	1	-	-	-	35	-	4	-	-	-	1
三重県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-
京都府	-	1	-	23	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	4	-	189	-	10	-	-	-	-	-	52	-	4	-	-	-	5
兵庫県	-	7	-	40	-	2	-	-	-	-	-	10	-	3	-	-	-	1
奈良県	-	4	1	14	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	2
広島県	-	4	-	26	-	1	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	1	45	-	2	-	2	-	-	-	48	-	4	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	7	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	11	-	1	-	1	-	-	-	17	-	4	-	-	-	3
大分県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	1
宮崎県	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	8	-	8	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	1	4	1	8	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	16	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年45週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	139	5	689
北海道	-	4	-	16
青森県	-	-	-	9
岩手県	-	-	-	2
宮城県	-	1	-	8
秋田県	-	1	-	-
山形県	-	-	-	7
福島県	-	2	-	9
茨城県	-	2	-	10
栃木県	-	2	-	11
群馬県	-	1	-	10
埼玉県	-	4	-	42
千葉県	-	10	1	100
東京都	-	18	2	104
神奈川県	-	13	2	93
新潟県	-	5	-	13
富山県	-	1	-	2
石川県	-	1	-	1
福井県	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	1
長野県	-	-	-	13
岐阜県	-	2	-	8
静岡県	-	-	-	10
愛知県	-	10	-	28
三重県	-	2	-	2
滋賀県	-	2	-	7
京都府	-	1	-	11
大阪府	-	12	-	56
兵庫県	-	6	-	6
奈良県	-	2	-	3
和歌山県	-	3	-	7
鳥取県	-	1	-	2
島根県	-	1	-	1
岡山県	-	2	-	10
広島県	-	3	-	23
山口県	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	1
香川県	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	6
高知県	-	1	-	-
福岡県	-	22	-	24
佐賀県	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	2	-	3
宮崎県	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	5

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年45週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	157626	32.76	235	0.08	2221	0.73	7094	2.34	2647	0.87	1062	0.35	186	0.06	1494	0.49	51	0.02
北海道	8523	37.38	16	0.11	150	1.05	72	0.50	150	1.05	45	0.31	-	-	37	0.26	-	-
青森県	2530	38.92	4	0.10	29	0.69	48	1.14	51	1.21	13	0.31	14	0.33	26	0.62	-	-
岩手県	2208	34.50	3	0.08	14	0.35	92	2.30	102	2.55	47	1.18	-	-	17	0.43	-	-
宮城県	4439	46.24	2	0.03	16	0.27	131	2.18	40	0.67	15	0.25	1	0.02	40	0.67	-	-
秋田県	2785	50.64	12	0.34	45	1.29	67	1.91	21	0.60	13	0.37	-	-	10	0.29	1	0.03
山形県	1501	31.27	5	0.17	79	2.63	67	2.23	44	1.47	86	2.87	3	0.10	14	0.47	-	-
福島県	2338	29.23	5	0.10	19	0.40	78	1.63	74	1.54	31	0.65	9	0.19	26	0.54	-	-
茨城県	3491	29.09	6	0.08	33	0.44	103	1.37	29	0.39	31	0.41	1	0.01	23	0.31	-	-
栃木県	2244	29.53	-	-	15	0.31	34	0.71	20	0.42	23	0.48	1	0.02	23	0.48	4	0.08
群馬県	2692	26.92	5	0.08	47	0.76	189	3.05	51	0.82	11	0.18	3	0.05	28	0.45	1	0.02
埼玉県	9043	36.46	8	0.05	165	1.04	397	2.50	107	0.67	76	0.48	14	0.09	79	0.50	2	0.01
千葉県	6311	30.34	7	0.05	113	0.85	256	1.92	92	0.69	51	0.38	15	0.11	61	0.46	5	0.04
東京都	7270	25.42	10	0.07	107	0.73	309	2.10	77	0.52	57	0.39	12	0.08	66	0.45	2	0.01
神奈川県	10858	33.00	3	0.01	125	0.61	429	2.10	132	0.65	49	0.24	34	0.17	119	0.58	4	0.02
新潟県	3930	40.52	12	0.20	60	0.98	74	1.21	69	1.13	29	0.48	5	0.08	26	0.43	6	0.10
富山県	1323	27.56	8	0.28	33	1.14	144	4.97	35	1.21	14	0.48	-	-	12	0.41	-	-
石川県	1925	40.10	4	0.14	12	0.41	112	3.86	36	1.24	6	0.21	-	-	12	0.41	-	-
福井県	835	26.09	-	-	17	0.77	108	4.91	23	1.05	25	1.14	1	0.05	9	0.41	1	0.05
山梨県	973	24.33	-	-	23	0.96	35	1.46	16	0.67	10	0.42	2	0.08	4	0.17	-	-
長野県	1938	22.02	2	0.04	38	0.69	125	2.27	69	1.25	17	0.31	16	0.29	17	0.31	-	-
岐阜県	2650	30.46	7	0.13	30	0.57	89	1.68	26	0.49	3	0.06	-	-	22	0.42	-	-
静岡県	2443	18.23	4	0.05	59	0.70	233	2.77	37	0.44	6	0.07	3	0.04	48	0.57	-	-
愛知県	10373	53.19	9	0.05	83	0.46	342	1.89	149	0.82	19	0.10	5	0.03	112	0.62	4	0.02
三重県	2774	38.53	2	0.04	10	0.22	116	2.58	36	0.80	4	0.09	4	0.09	28	0.62	-	-
滋賀県	2603	50.06	-	-	19	0.61	97	3.13	21	0.68	3	0.10	2	0.06	6	0.19	-	-
京都府	3497	28.20	2	0.03	22	0.29	163	2.17	44	0.59	11	0.15	-	-	27	0.36	1	0.01
大阪府	9110	29.87	10	0.05	157	0.79	496	2.51	177	0.89	32	0.16	6	0.03	84	0.42	2	0.01
兵庫県	6573	33.03	7	0.05	65	0.50	323	2.50	112	0.87	17	0.13	5	0.04	54	0.42	1	0.01
奈良県	1116	20.29	2	0.06	14	0.40	59	1.69	6	0.17	4	0.11	2	0.06	17	0.49	-	-
和歌山県	1100	22.00	-	-	11	0.35	44	1.42	20	0.65	5	0.16	-	-	16	0.52	-	-
鳥取県	485	16.72	-	-	34	1.79	58	3.05	12	0.63	1	0.05	3	0.16	7	0.37	-	-
島根県	840	22.11	2	0.09	24	1.04	69	3.00	46	2.00	25	1.09	1	0.04	17	0.74	-	-
岡山県	2383	28.37	7	0.13	21	0.39	142	2.63	26	0.48	4	0.07	-	-	13	0.24	-	-
広島県	3470	30.17	6	0.08	44	0.61	163	2.26	67	0.93	22	0.31	5	0.07	33	0.46	6	0.08
山口県	1980	27.89	4	0.08	147	2.94	140	2.80	60	1.20	9	0.18	-	-	21	0.42	-	-
徳島県	656	18.22	-	-	4	0.18	47	2.14	10	0.45	5	0.23	1	0.05	19	0.86	-	-
香川県	1979	42.11	4	0.14	26	0.93	56	2.00	12	0.43	15	0.54	-	-	15	0.54	-	-
愛媛県	1733	28.41	1	0.03	13	0.35	87	2.35	27	0.73	3	0.08	2	0.05	33	0.89	-	-
高知県	1536	32.00	-	-	10	0.33	31	1.03	20	0.67	7	0.23	-	-	16	0.53	-	-
福岡県	9648	48.73	18	0.15	70	0.58	399	3.33	149	1.24	63	0.53	3	0.03	86	0.72	8	0.07
佐賀県	1243	31.87	11	0.48	62	2.70	49	2.13	22	0.96	11	0.48	2	0.09	15	0.65	-	-
長崎県	2114	30.20	2	0.05	6	0.14	60	1.36	29	0.66	12	0.27	2	0.05	23	0.52	2	0.05
熊本県	1868	23.35	11	0.23	39	0.81	442	9.21	48	1.00	10	0.21	4	0.08	41	0.85	-	-
大分県	2655	45.78	2	0.06	34	0.94	201	5.58	97	2.69	15	0.42	3	0.08	27	0.75	-	-
宮崎県	1805	30.59	3	0.08	23	0.64	153	4.25	73	2.03	27	0.75	1	0.03	28	0.78	-	-
鹿児島県	2086	22.67	9	0.17	44	0.81	134	2.48	72	1.33	22	0.41	-	-	24	0.44	-	-
沖縄県	1749	30.16	-	-	10	0.29	31	0.91	11	0.32	58	1.71	1	0.03	13	0.38	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年45週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	314	0.10	1997	0.66	5	0.01	273	0.41	8	0.02	8	0.02	140	0.31	17	0.04	653
北海道	21	0.15	125	0.87	-	-	6	0.21	-	-	-	-	10	0.43	-	-	44
青森県	3	0.07	12	0.29	-	-	2	0.18	-	-	-	-	1	0.17	-	-	23
岩手県	2	0.05	18	0.45	-	-	5	0.36	-	-	-	-	-	-	1	0.05	11
宮城県	-	-	16	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	19	1.58	1	0.08	6
秋田県	2	0.06	16	0.46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	11	0.37	98	3.27	-	-	8	1.00	-	-	-	-	2	0.20	-	-	21
福島県	24	0.50	61	1.27	-	-	5	0.42	-	-	-	-	7	1.00	1	0.14	7
茨城県	5	0.07	59	0.79	-	-	16	0.94	-	-	-	-	1	0.08	-	-	-
栃木県	2	0.04	17	0.35	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	4
群馬県	-	-	33	0.53	-	-	7	0.50	-	-	-	-	9	1.13	-	-	5
埼玉県	12	0.08	137	0.86	1	0.02	8	0.20	-	-	-	-	5	0.56	1	0.11	11
千葉県	11	0.08	128	0.96	-	-	13	0.38	1	0.11	1	0.11	1	0.11	1	0.11	1
東京都	17	0.12	83	0.56	1	0.03	14	0.36	1	0.05	-	-	3	0.14	-	-	16
神奈川県	8	0.04	115	0.56	-	-	17	0.41	-	-	-	-	-	-	-	-	10
新潟県	9	0.15	15	0.25	-	-	6	0.67	-	-	-	-	1	0.08	5	0.42	18
富山県	5	0.17	28	0.97	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.20	-	-	5
石川県	7	0.24	20	0.69	-	-	1	0.14	-	-	-	-	4	0.80	-	-	2
福井県	9	0.41	61	2.77	-	-	-	-	1	0.17	-	-	1	0.17	-	-	5
山梨県	1	0.04	7	0.29	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.20	1	0.10	-
長野県	11	0.20	6	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.09	-	-	6
岐阜県	-	-	23	0.43	1	0.09	2	0.18	1	0.20	1	0.20	3	0.60	-	-	5
静岡県	4	0.05	30	0.36	-	-	7	0.35	-	-	-	-	3	0.30	-	-	5
愛知県	4	0.02	56	0.31	-	-	11	0.33	-	-	-	-	5	0.33	2	0.13	22
三重県	2	0.04	11	0.24	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	1	0.03	6	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-
京都府	5	0.07	17	0.23	-	-	5	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	9	0.05	136	0.69	1	0.02	13	0.27	-	-	-	-	11	0.79	2	0.14	69
兵庫県	6	0.05	29	0.22	-	-	10	0.29	1	0.13	-	-	2	0.25	-	-	18
奈良県	-	-	42	1.20	-	-	2	0.22	-	-	1	0.17	-	-	-	-	5
和歌山県	6	0.19	21	0.68	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.09	-	-	24
鳥取県	1	0.05	2	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
島根県	1	0.04	6	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岡山県	3	0.06	14	0.26	-	-	9	0.75	-	-	1	0.20	1	0.20	1	0.20	7
広島県	9	0.13	54	0.75	-	-	23	1.21	-	-	1	0.05	7	0.33	-	-	33
山口県	16	0.32	22	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-	7	0.78	-	-	23
徳島県	1	0.05	18	0.82	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-	3
香川県	16	0.57	1	0.04	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	11
愛媛県	-	-	5	0.14	-	-	8	1.00	-	-	-	-	4	0.67	-	-	3
高知県	28	0.93	19	0.63	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	11	0.09	119	0.99	-	-	9	0.35	-	-	-	-	3	0.20	-	-	44
佐賀県	-	-	19	0.83	-	-	1	0.25	-	-	-	-	4	0.67	-	-	11
長崎県	1	0.02	56	1.27	1	0.13	3	0.38	-	-	-	-	3	0.25	-	-	10
熊本県	8	0.17	44	0.92	-	-	15	1.67	1	0.07	-	-	-	-	-	-	18
大分県	1	0.03	48	1.33	-	-	6	1.20	-	-	-	-	1	0.09	-	-	9
宮崎県	7	0.19	30	0.83	-	-	4	0.67	-	-	1	0.14	1	0.14	1	0.14	81
鹿児島県	8	0.15	22	0.41	-	-	7	1.00	-	-	-	-	3	0.25	-	-	40
沖縄県	6	0.18	92	2.71	-	-	13	1.30	2	0.29	2	0.29	10	1.43	-	-	5

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年45週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2009年45週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第11巻 第45号 2009年11月20日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。